



第 33 回

地球環境問題と人類の存続に関するアンケート

調査報告書

2024 年 9 月

公益財団法人 旭硝子財団

目次

はじめに	1
I. 調査の概要	2
II. 調査結果の概要	3
III. 調査結果	4
III-1. 人類存続の危機に関する認識—環境危機時計®	4
III-1-1. 世界の環境危機時計® の時刻	5
III-1-2. 地球環境の変化を示す項目	9
III-2. 「気候変動問題」と「生物多様性の喪失」の問題に関する認識	26
III-3. 持続可能な開発目標(SDGs)に関する認識	30
IV. おわりに	33
参考：環境に関する世界の主な出来事	34
V. データ集	35
VI. 調査票	43

はじめに

本報告書は、当財団が1992年より実施している「地球環境問題と人類の存続に関するアンケート」の2024年の調査結果をまとめたものです。本年度も、より多くの方々へ環境問題の有識者による地球環境に関する現状認識をお伝えしたいと存じます。

2024年の環境アンケートの回答期間は、例年通り4月、5月でした。2023年5月には、WHOが2020年に始まった新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の緊急事態宣言の終了を発表し、それから一年が経過したこともあり、多くの方がパンデミック前の日常を取り戻し始めました。しかし、2022年2月24日に始まったロシアによるウクライナ侵攻は依然として続いており、さらに2023年10月からはイスラエルとハマスとの戦闘も続いています。このような世界情勢の中でのアンケート調査で、昨年より288件多い2,093件（2023年は1,805件）もの回答をいただきました。大変お忙しい中、アンケートにご回答くださった世界中の多くの方にお礼を申し上げますとともに、今年も御報告が出来ることを嬉しく思います。

今年は環境危機時計[®]の時刻が昨年より4分戻り、9時27分になりました。2018年と2020年に9時47分で時刻が最も進んだ後、2021年から4年連続で針が戻っています。地域別にみると、西欧を除いたすべての地域で針が戻りました。年代別にみると60代以上では昨年より進んだ時刻を回答し、それ以外の世代では戻った時刻を回答しました。世界的には環境問題が良い方向に変わりつつあるという認識を持っている人が多いようです。

また、昨年は、「生活者の環境危機意識調査」として一般の生活者を対象に日本を含む世界25か国で調査を実施しましたが、この調査を、本年は日本国内のみで行いました。結果は弊財団のウェブサイトで公開いたしますので、世界の環境問題に関する有識者を対象とした本調査結果とあわせてご覧ください。

多くの方からの回答とともに、有意義なご意見やコメントも多数頂きました。

今年も、各国の回答者のコメントは弊財団のウェブサイトに掲載いたします。

<https://www.af-info.or.jp/questionnaire/result.html>

環境問題に関する有識者の生の声をぜひご覧ください。

われわれは、本環境アンケートを通じて環境問題に関わる人のみならず、より多くの方々に環境への関心を持って頂くことにより、地球環境問題の解決に微力ながら貢献することを切に願っております。今後とも皆様方からの貴重なご助言・ご指導を賜りますよう何とぞよろしくお願い申し上げます。

2024年9月

公益財団法人 旭硝子財団

I. 調査の概要

調査時期 : 2024年4月から6月
調査対象 : 世界各国の政府・自治体、NGO/NPO、大学・研究機関、企業、マス・メディア、民間等の環境問題に関する有識者（旭硝子財団保有データベースに基づく）
送付数 : 約39,000（海外 約37,000 国内約2,000）
回収数 : 2,093
回収率 : 約5.4%

表1 属性別の回収結果

【地域】	回収数	構成比 (%)
日本	459	21.9
海外	1634	78.1
全世界 合計	2093	100.0
アジア（日本含む）	1388	66.3
オセアニア	36	1.7
北米	158	7.5
メキシコ・中米・カリブ諸国	62	3.0
南米	101	4.8
西欧	206	9.8
アフリカ	87	4.2
中東	29	1.4
東欧・旧ソ連	26	1.2
全世界 合計	2093	100.0
【組織】		
中央政府	108	5.2
地方自治体	84	4.0
大学・研究機関	726	34.7
NGO/NPO	363	17.3
企業	527	25.2
ジャーナリズム	39	1.9
その他	245	11.7
不明	1	0.0
全体合計	2093	100.0

- * 本報告書における分析の百分率のベースは、特に説明がない限り、単一回答の設問については回収票数、複数回答の設問については有効回答の延回答件数を使用している。
- * 数値は小数点第1位もしくは第2位を四捨五入してある。
- * 延回答件数ベース：回収票数ではなく、その質問に対してなされた回答の延件数を基数とする。

Ⅱ．調査結果の概要

Ⅱ-1．人類存続の危機に関する認識—環境危機時計[®]

- ・世界の環境危機時計の時刻は2011年以来、進む傾向にあったが、2021年から4年連続で時計の針が戻って9時27分になった。
- ・世界各地の環境危機時計の時刻を見ると、昨年と比べ、西欧では19分針が進んだが、それ以外のすべての地域で針が戻った。特にメキシコ・中米・カリブ諸国では35分、中東では44分と大きく針が戻った。
- ・日本の環境危機時計の時刻は9時37分となり昨年と比べ針が6分進んだ。
- ・世界全体の環境危機時計の時刻を決定する際に選ばれた「地球環境の変化を示す項目」は、選択率が高い順に、「気候変動（30%）」、「生物圏保全性（生物多様性）（13%）」、「社会、経済と環境、政策、施策（12%）」。
- ・世界全体の「地球環境の変化を示す項目」を環境危機時計の時刻順に並べると、「生物圏保全性（生物多様性）」（9時46分）が最も進んでいる。この時刻は昨年の9時59分から13分戻った。

Ⅱ-2．「気候変動問題」と「生物多様性の喪失」の問題に関する認識

地球環境問題の中で、「気候変動問題」と「生物多様性の喪失」の問題には特に大きな関心が集まっている。「一般の人々の意識」、「政策・法制度」、「社会基盤（資金・人材・技術・設備）」の三つの観点から、地球温暖化抑制のための「脱炭素社会への転換」と「野生生物の生息地の保全・再生」の自国内での進捗の認識について質問した。

- ・脱炭素社会への転換については、「政策・法制度」や「社会基盤（資金・人材・技術・設備）」の面は、「一般の人々の意識」の面ほど進んでいない。
- ・野生生物の生息地の保全・再生については、全ての面で進んでいると考える人は少なく、脱炭素社会への転換に比べても遅れていると考えられている。

Ⅱ-3．持続可能な開発目標（SDGs）に関する認識

- ・自分の住む国・地域で2030年に達成度が高いと思う目標として、「9. 産業と技術革新の基盤をつくろう」、「18. 達成度が高いと思うものはない」、「4. 質の高い教育をみんなに」の三つが多く選ばれた。
- ・自分の住む国・地域で2030年に達成度が低いと思う目標として、「1. 貧困をなくそう」、「10. 人や国の不平等をなくそう」、「13. 気候変動に具体的な対策を」の三つが多く、国、地域で選ばれた。
- ・2030年までの目標達成に向けて、全目標達成を100%としたときの2024年時点でのSDGsの感覚的な達成度は、世界平均で31%であった。

Ⅲ. 調査結果

Ⅲ-1. 人類存続の危機に関する認識—環境危機時計[®]

問1 9ページの表5は“地球環境の変化を示す項目”です。地球全体の問題を念頭に置きながら、あなたがお住まいの国または地域における環境問題を考える上で重要な項目を3つ選んで1位～3位の順位付けをし、それぞれ時計の針に例えて0:10～12:00の範囲で〇〇時〇〇分と答えてください。時刻は便宜上、10分単位でご記入下さい。

***危機時刻の決定法について**

- ・1位から3位の時刻の加重平均(1位:50%、2位:30%、3位:20%)として環境危機時計の時刻を決定します。
- ・有効な回答が、1位と2位だけの場合は1位:62.5%、2位:37.5%。1位だけの場合は100%としています。

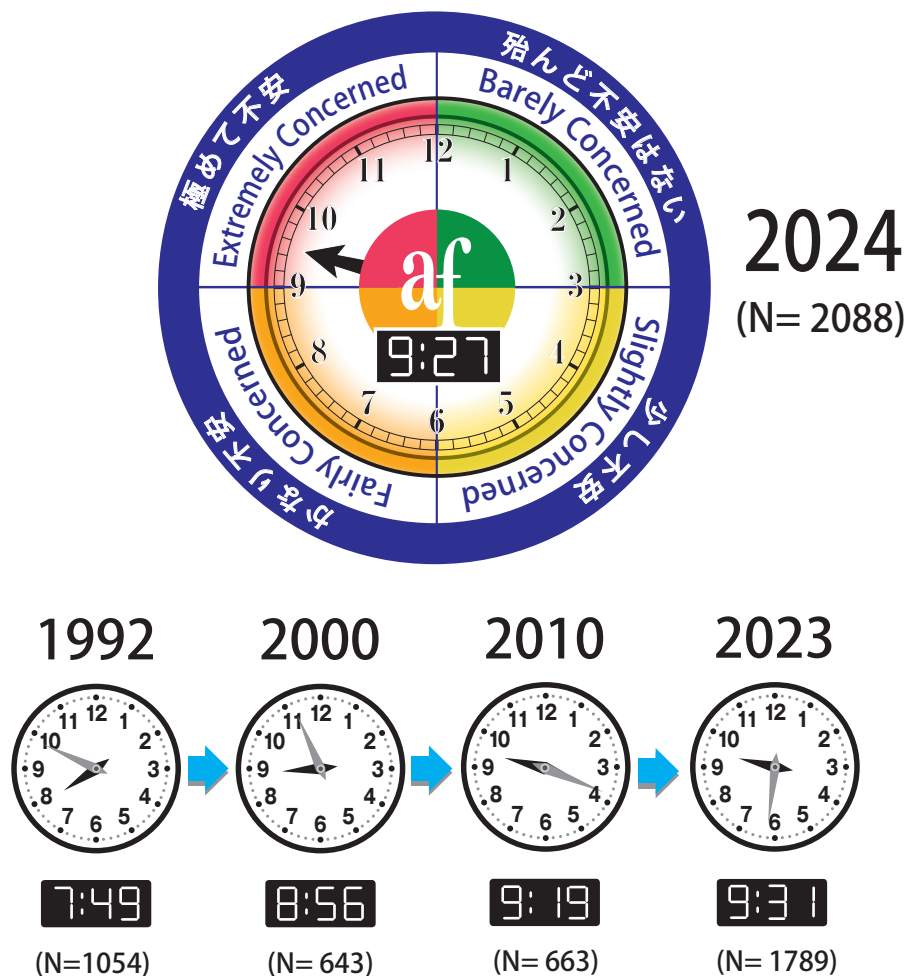


図1 環境危機時計[®]の時刻

III-1-1. 世界の環境危機時計®の時刻

表2 環境危機時計®の時刻の推移(世界)

年度	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000
時刻	-	7:49	8:19	8:47	8:49	9:13	9:04	9:05	9:08	8:56
年度	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010
時刻	9:08	9:05	9:15	9:08	9:05	9:17	9:31	9:33	9:22	9:19
年度	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
時刻	9:01	9:23	9:19	9:23	9:27	9:31	9:33	9:47	9:46	9:47
年度	2021	2022	2023	2024						
時刻	9:42	9:35	9:31	9:27						

調査開始以来、■は危機感が最も低く、■は最も高い

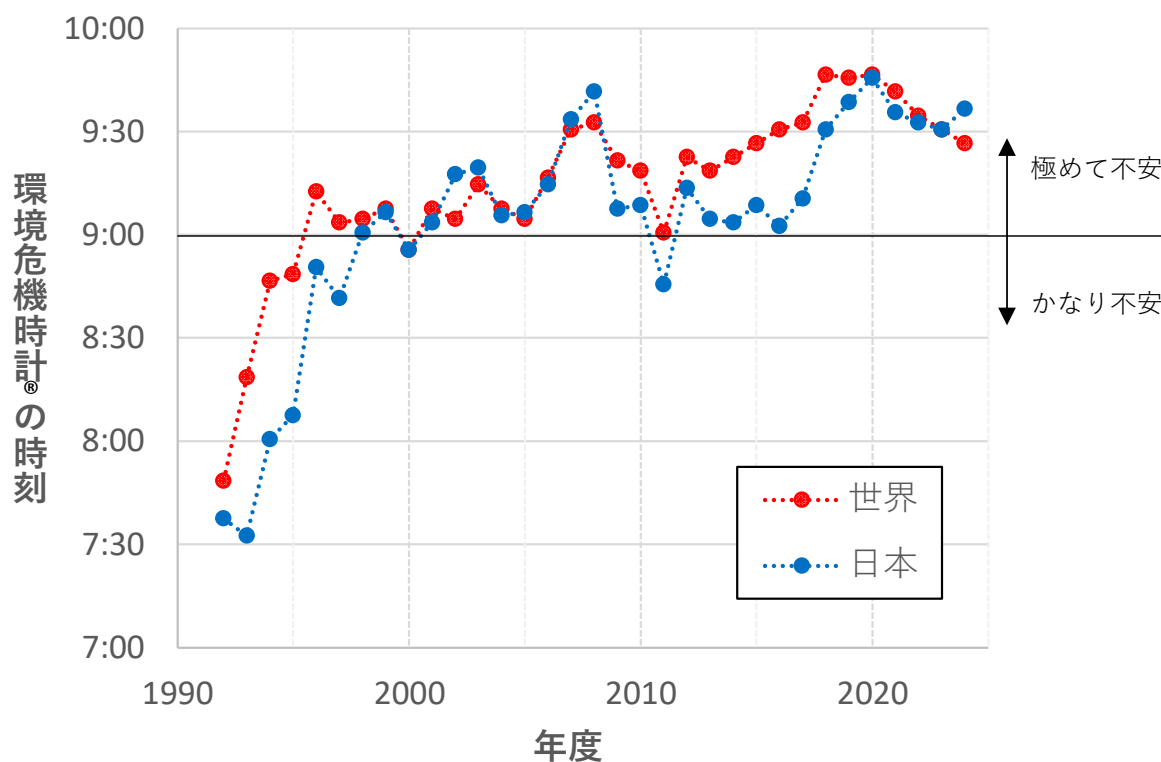
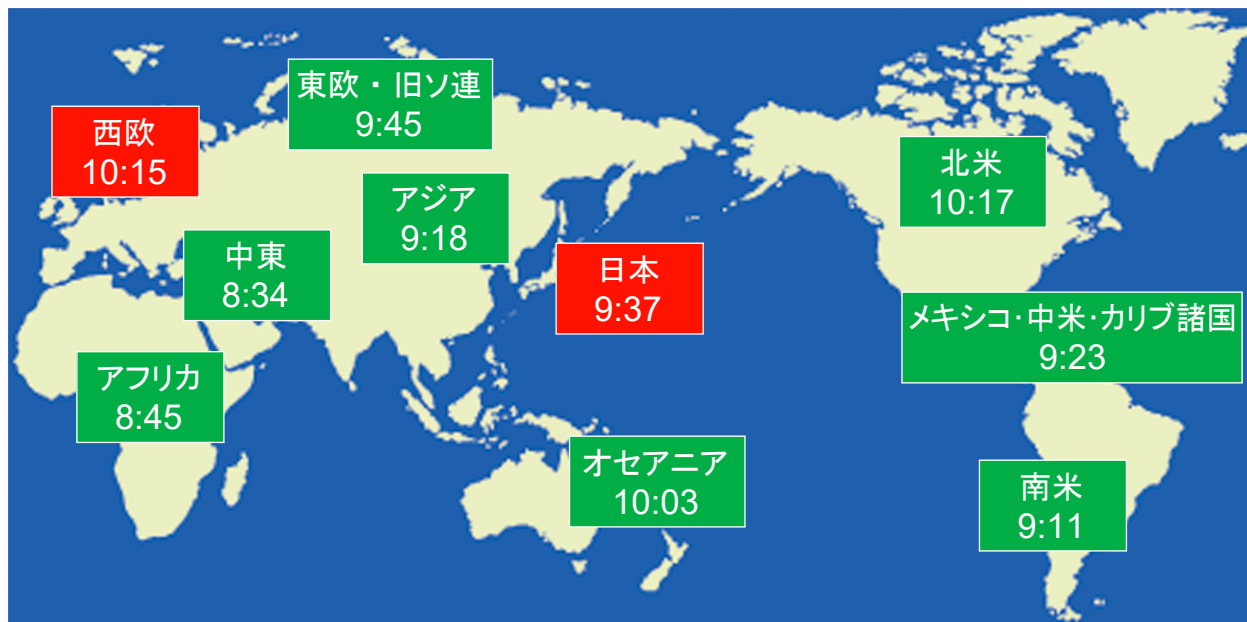


図2 世界と日本の環境危機時計®の時刻の推移

- ・世界の環境危機時計®の時刻は2011年以來、進む傾向にあったが、2021年から4年連続で時計の針が戻った。



■は昨年より時刻が進んだ地域 ■は昨年より時刻が戻った地域

図 3-1 世界各地域と日本の環境危機時計[®]の時刻

表 3 世界各地域の環境危機時計[®]の時刻の推移

年度	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	前年との差 (min)	回答者数 (2024年)
世界	9:27	9:31	9:33	9:47	9:46	9:47	9:42	9:35	9:31	9:27	-4	2088
日本	9:09	9:03	9:11	9:31	9:38	9:46	9:36	9:33	9:31	9:37	6	457
アジア	9:15	9:18	9:25	9:48	9:38	9:44	9:40	9:25	9:21	9:18	-3	1385
オセアニア	10:06	10:01	10:12	10:03	10:31	10:20	10:20	10:08	10:21	10:03	-18	36
北米	10:01	9:58	10:08	10:11	10:30	10:33	10:03	10:17	10:21	10:17	-4	158
メキシコ・中米 ・カリブ諸国	9:47	9:38	9:19	9:10	9:38	9:38	9:35	9:32	9:58	9:23	-35	62
南米	9:54	9:48	9:32	9:24	9:38	9:29	9:35	9:43	9:22	9:11	-11	101
西欧	9:42	9:47	9:45	10:04	10:06	9:59	10:07	10:09	9:56	10:15	19	205
アフリカ	9:00	9:09	9:14	9:29	9:01	8:34	8:33	9:01	8:57	8:45	-12	86
中東	9:10	10:06	9:05	9:30	9:45	9:35	9:22	9:35	9:18	8:34	-44	29
東欧・旧ソ連	8:51	8:51	8:47	8:42	9:13	9:30	9:22	9:37	10:01	9:45	-16	26

- ・表3と図3-2に示すように、世界全体で環境危機時計[®]の針は4分戻った。
- ・日本の環境危機時計[®]の平均時刻は9時37分となり昨年より6分進んだ。
- ・地域別に見ると、メキシコ・中米・カリブ諸国では35分、中東では44分と大きく時刻が戻ったことが目を引く。メキシコ・中米・カリブ諸国で2023年は前年よりも自然災害が少なかったこと、2023年11月にCOP28がアラブ首長国連邦で開催されたことの影響もあるかもしれない
- ・世界の地域の中で西欧は唯一時計の針が19分進んだ。これは、2023年に猛暑、干ばつ、洪水などの異常気象が頻発したことや、ロシア・ウクライナ戦争の長期化によるエネルギー供給の不安定化などが回答者の意識に影響しているのではないだろうか。

図3-2に表3に示した地域・国の中から回答者の多いものを抜粋して、過去10年の環境危機時計の時刻の推移を示す。

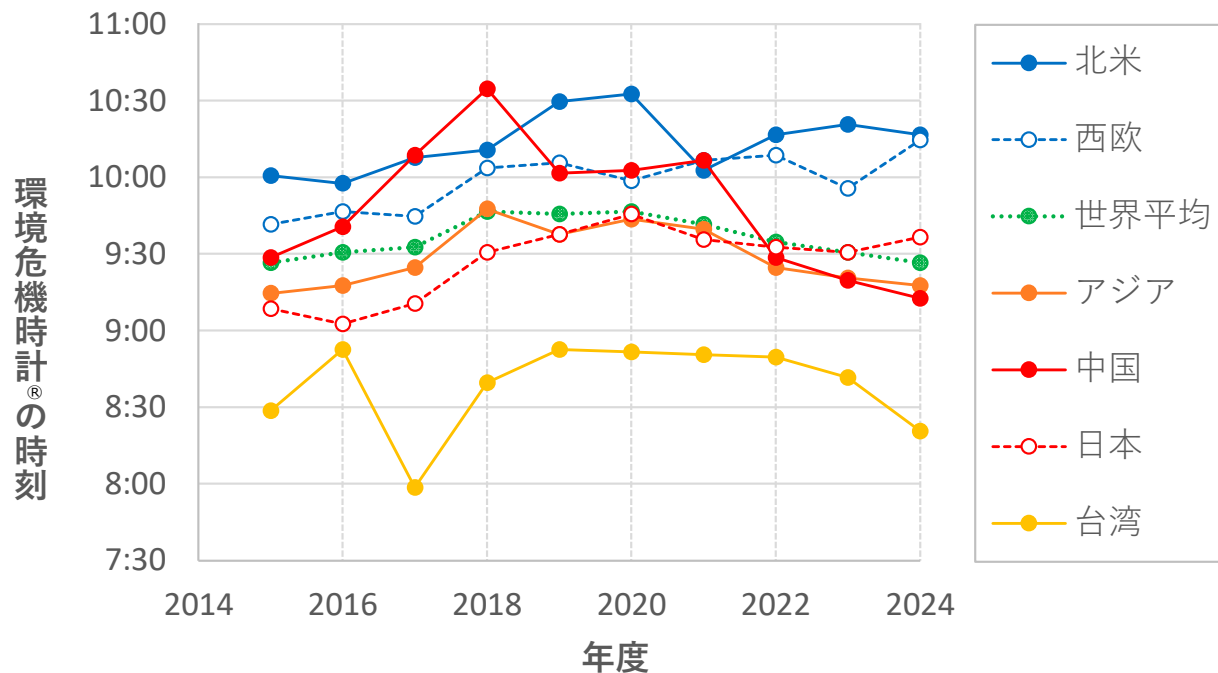


図3-2 回答者の多い国・地域の環境危機時計®の時刻の推移

回答者の年齢層による環境危機時計[®]の時刻の過去10年の推移 (2015年～2024年)

過去10年間の環境危機時計[®]の時刻の世代別推移を表4、図4に示す。

表4 環境危機時計[®]の時刻の世代別推移

年度	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
時刻	9:27	9:31	9:33	9:47	9:46	9:47	9:42	9:35	9:31	9:27
60代以上	9:33	9:36	9:43	9:49	9:57	9:55	9:49	9:53	9:46	9:54
40代、50代	9:30	9:28	9:29	9:33	9:44	9:41	9:38	9:31	9:36	9:23
20代、30代	9:17	9:30	9:32	10:00	9:40	9:45	9:41	9:25	9:19	9:14

- ・60代以上の回答者は、他の世代よりも進んだ環境危機時計の時刻を回答する傾向がある。
- ・今年は20代から50代の示す環境危機時計の時刻は戻り、60代以上では時刻が進んだ。60代以上とそれ以外とで環境問題の現状の捉え方の二分化が顕著になってきた。
- ・過去10年を振り返ると、20代、30代が示す環境危機時計の時刻は、2018年まで進む傾向にあったが、その後は時計の針が戻る傾向にある。

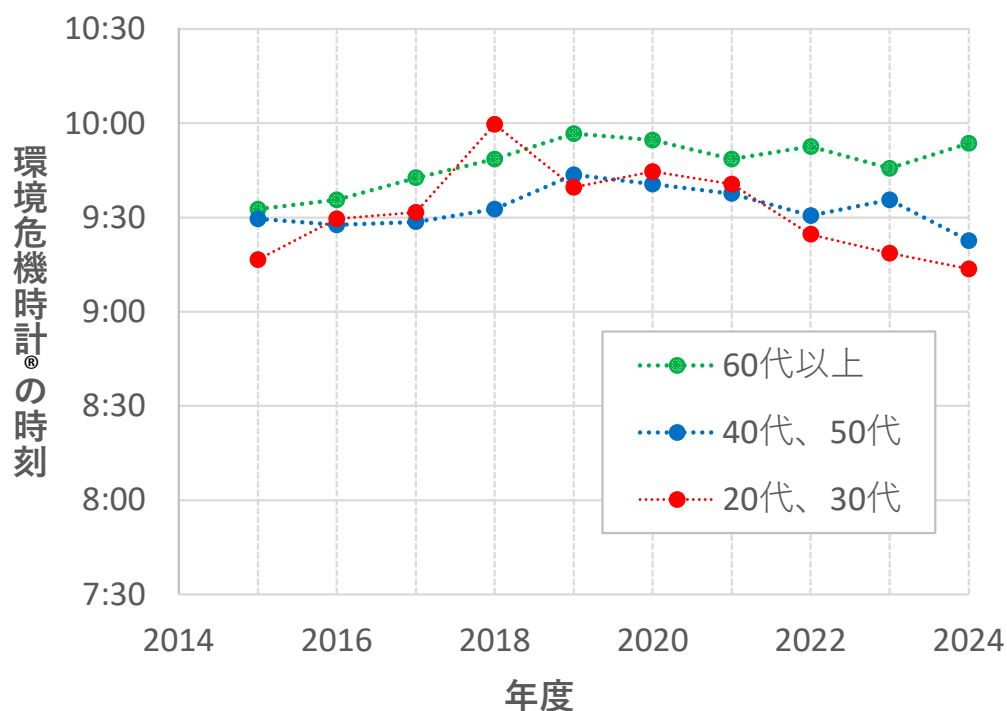


図4 環境危機時計[®]の時刻の世代別推移

III-1-2. 地球環境の変化を示す項目

表5 地球環境の変化を示す項目

番号	項目	あなたがお住まいの国または地域で観察されること（例）	プラネタリー・バウンダリーズ(PB)	関連する SDGs (持続可能な開発目標)
1.	気候変動	大気中 CO ₂ 濃度や地球温暖化、海洋酸性度の増加 早ばつ、大雨・洪水、暴風雨、大雪、異常低温・高温、河川・湖沼の干上がり、砂漠化などの悪化（増加、頻発化、巨大化）	気候変動、海洋の酸性化、大気煙霧質、オゾン減少	13
2.	生物圏保全性 (生物多様性)	絶滅する生物種（見かけなくなった生物）の増加、(汚染、気候変動、土地利用等も関連)	遺伝子多様性、機能性の多様性	14, 15
3.	陸域系の変化 (土地利用)	特に熱帯、温帯、亜寒帯の生物圏の森林領域面積の変化 耕作域面積の変化	陸域系の変化	13, 15
4.	生物化学フロー (環境汚染)	過剰な窒素やリン分による富栄養化や化学物質やマイクロプラスチックなどによる河川・海洋・土壌汚染の増加 浮遊物質や煤、化学物質による大気汚染の増加	化学物質による汚染、窒素とリンの循環	3, 6, 7
5.	水資源	枯渇や汚染による利用可能な淡水の減少 グリーンウォーター（土壌に含まれる植物が利用する水）の管理や質の低下	淡水	6
6.	人口	地域や国全体の人口増加 国全体の人口増減とは無関係な都市人口の増加	ほぼ全ての PB の領域に関連	1, 2, 3, 4, 5, 7, 8, 9, 10, 11, 12
7.	食糧	陸や海の食糧資源の減少	ほぼ全ての PB の領域に関連	2, 12, 14, 15
8.	ライフスタイル (消費性向)	エネルギー・資源多消費型ライフスタイルからの転換	ほぼ全ての PB の領域に関連	4, 11, 12
9.	社会、経済と環境、政策、施策	環境経済、環境会計を柱とするグリーンエコノミーの実現 環境問題に対する認識や環境教育の進展、法制度、社会基盤 貧困問題の解決、ガバナンス、女性の社会的地位	ほぼ全ての PB の領域に関連	1, 2, 3, 4, 5, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 16, 17

青字は、プラネタリー・バウンダリーズ（地球の限界）： Will Steffen, Katherine Richardson, Johan Rockstrom et al. Science 13 Feb 2015 vol. 347, issue 6223



図5 持続可能な開発目標 (SDGs)

III-1-2-1. 地球環境の変化を示す項目（第1～3位選択）の分布

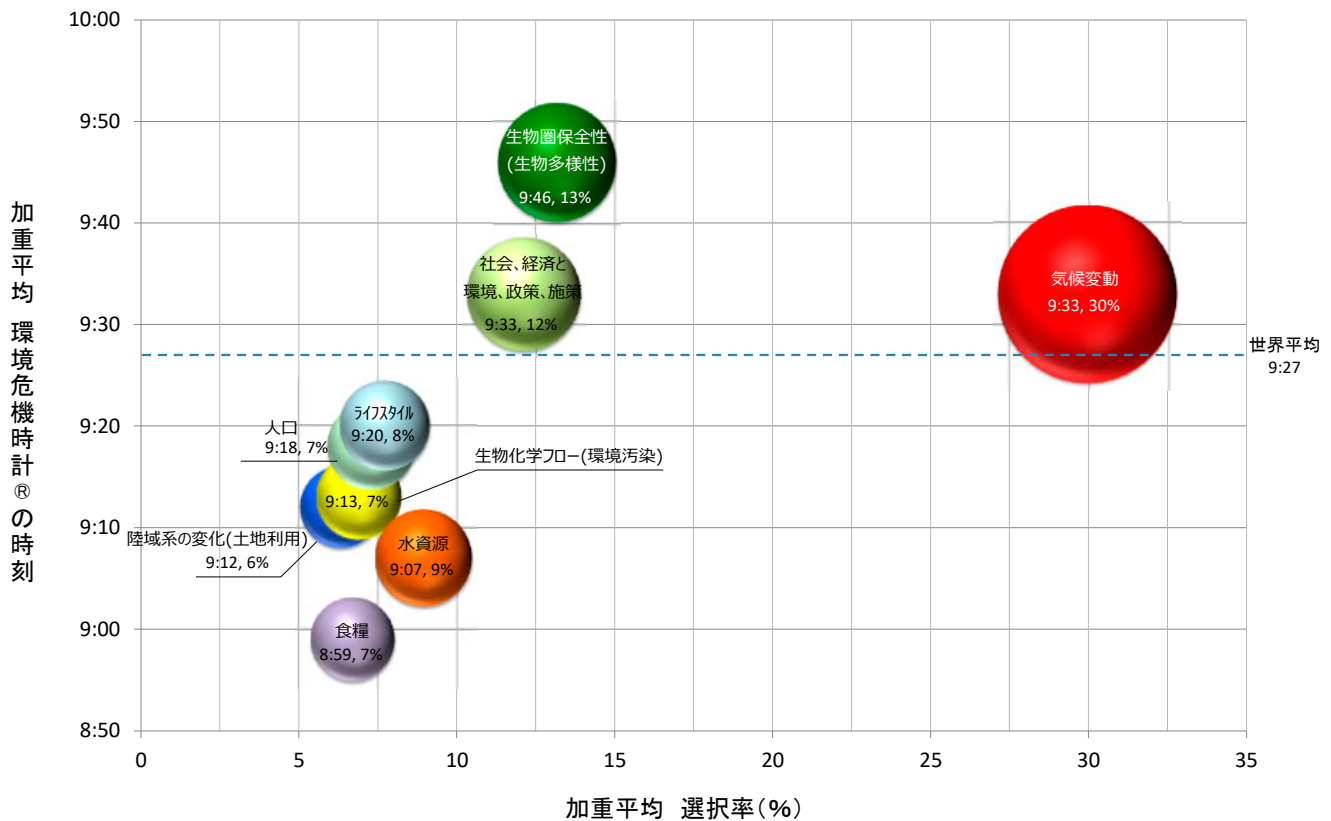


図6-1 地球環境の変化を示す項目(第1～3位選択)の分布 (環境危機時計の時刻と選択率), 2024年

- ・世界全体の環境危機時計の時刻を決定する際に選ばれた「地球環境の変化を示す項目」は、昨年と同様に「気候変動」(30%)、「生物圏保全性(生物多様性)」(13%)、「社会、経済と環境、政策、施策」(12%)が上位3項目であり、これに「水資源」(9%)、「ライフスタイル(消費性向)」(8%)、「人口」(7%)、「生物化学フロー(環境汚染)」(7%)、「食糧」(7%)、「陸域系の変化(土地利用)」(6%)と続いた。各項目の占める割合は昨年からはほとんど変わっていない。
- ・同じく世界全体の「地球環境の変化を示す項目」を環境危機時計の時刻が進んでいる順に並べると、「生物圏保全性(生物多様性)」(9時46分)、「気候変動」(9時33分)、「社会、経済と環境、政策、施策」(9時33分)が世界平均(9時27分)よりも進んでいる。平均よりも戻っているのは、「ライフスタイル」(9時20分)、「人口」(9時18分)、「生物化学フロー(環境汚染)」(9時13分)、「陸域系の変化(土地利用)」(9時12分)、「水資源」(9時07分)、「食糧」(8時59分)の順となった。
- ・2022年(図6-3)は例外的に「社会、経済と環境、政策、施策」(9時49分)が最も進んだ時刻となっているが、「生物圏保全性(生物多様性)」の時刻は例年最も進んでいる。

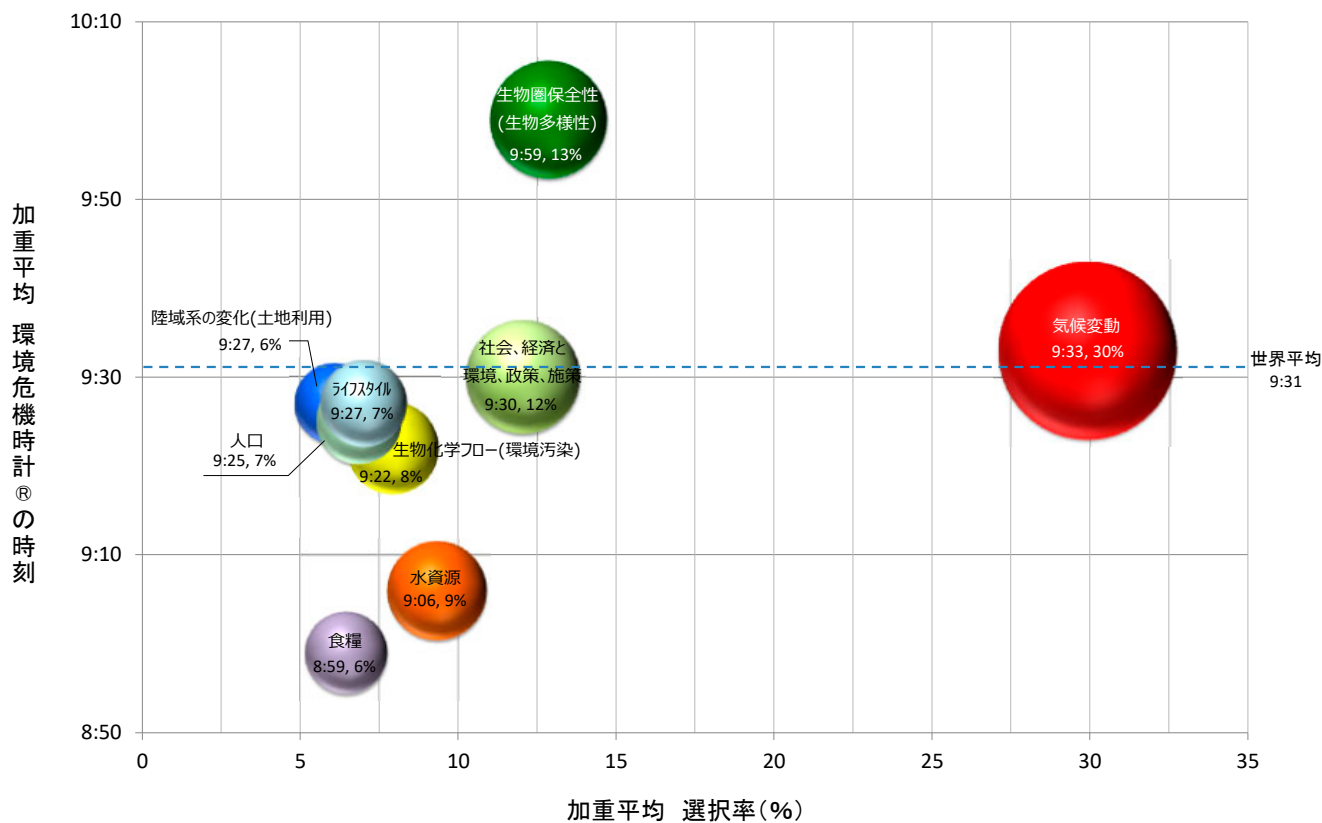


図6-2 地球環境の変化を示す項目(第1～3位選択)の分布(環境危機時計の時刻と選率), 2023年

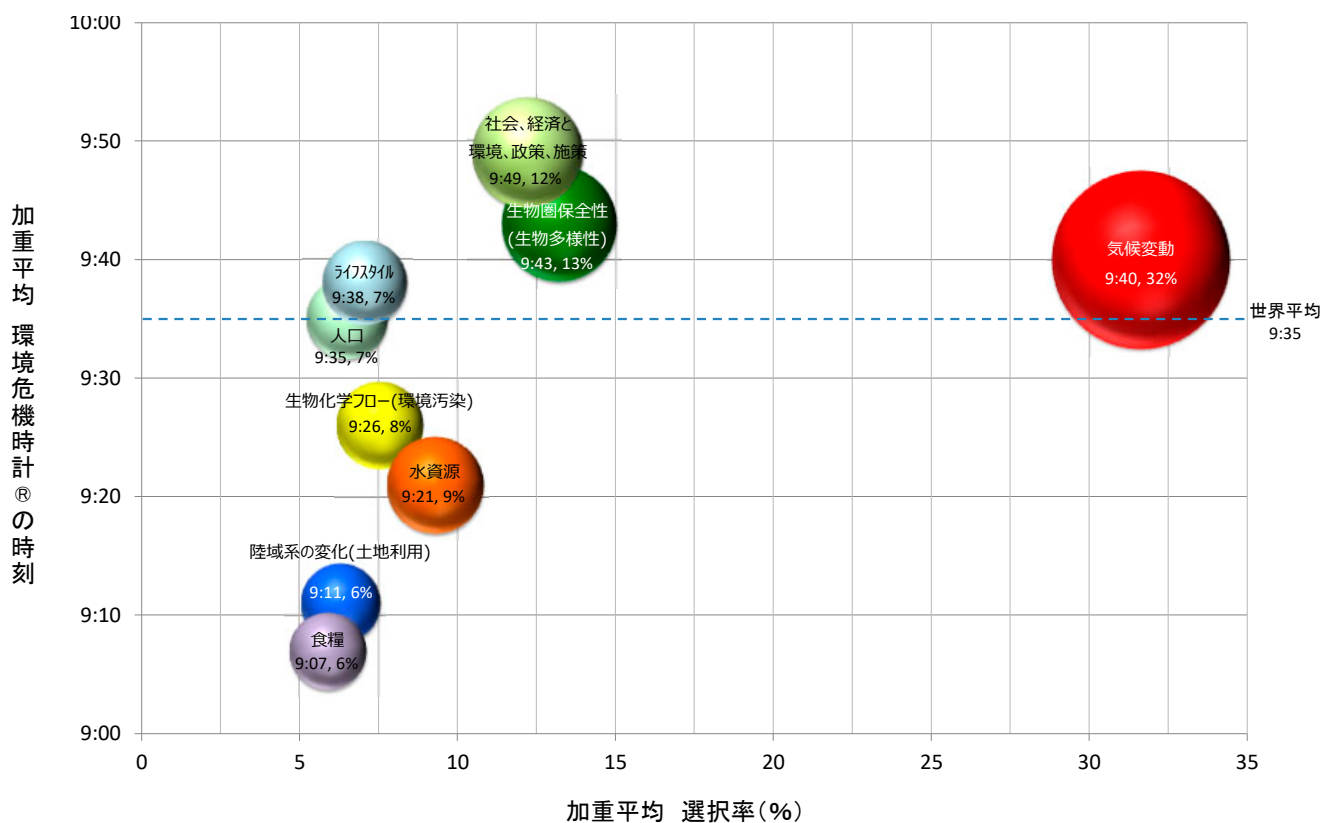
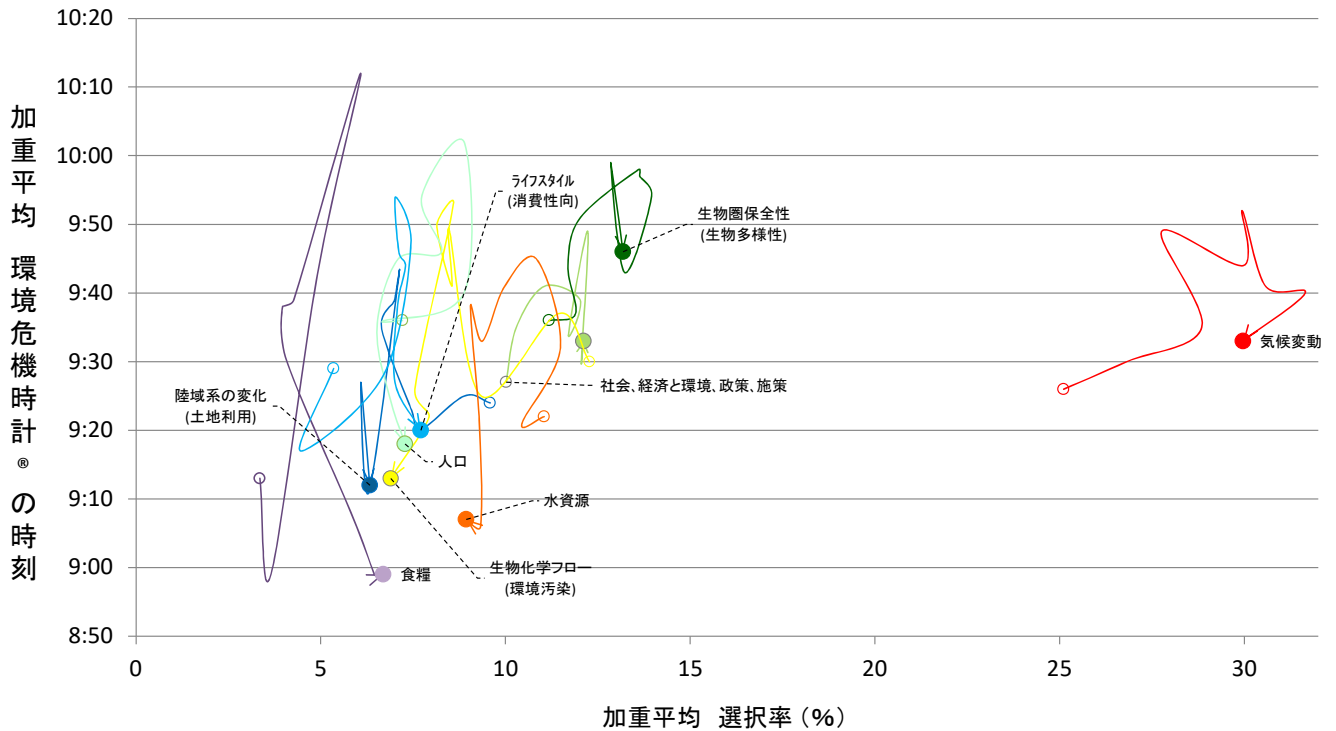


図6-3 地球環境の変化を示す項目(第1～3位選択)の分布(環境危機時計の時刻と選率), 2022年

III-1-2-2. 環境危機時計[®]の時刻/選択率の分布の年次変化



※2017年度より「温暖化対策」「環境と経済」「環境と社会」は廃止し、新たにこれらを統合した「社会、経済と環境」を追加した。

※2019年度より「社会、経済と環境」は「社会、経済と環境、政策、施策」に変更した。

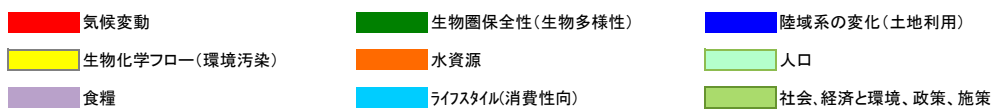


図7 環境危機時計[®]の時刻/選択率の分布の年次変化 (2015 ~ 2024年度)

- ・過去10年間を見ると、「気候変動」は、選択率が増加する傾向にあったが、近年は30%程度で変化は小さく、時刻は戻ってきている。それ以外の項目は、選択率の変動はあまり大きくなく、環境危機時計の時刻は9時から10時ごろの間を変動している。

III-1-2-3. 各地域の地球環境の変化を示す項目の選択傾向

表6 各地域の地球環境の変化を示す項目の選択傾向

	1. 気候変動	2. 生物圏保全性 (生物多様性)	3. 陸域系の変化 (土地利用)	4. 生物化学フロー (環境汚染)	5. 水資源	6. 人口	7. 食糧	8. ライフスタイル	9. 社会、経済と環境、政策、施策
世界	30%	13%	6%	7%	9%	7%	7%	8%	12%
アジア(全)	30%	10%	5%	8%	9%	9%	9%	8%	12%
日本	38%	11%	4%	6%	4%	7%	8%	7%	14%
インド	27%	14%	14%	8%	13%	9%	1%	3%	10%
中国	17%	6%	4%	9%	14%	12%	13%	10%	12%
台湾	28%	9%	8%	18%	12%	7%	3%	6%	9%
韓国	40%	14%	2%	6%	5%	7%	6%	6%	12%
アジア(上記5か国を除く)	32%	20%	13%	5%	8%	2%	3%	5%	10%
オセアニア	36%	24%	10%	4%	3%	7%	2%	5%	10%
オーストラリア	38%	28%	10%	2%	1%	9%	1%	3%	7%
オセアニア(豪以外)	31%	11%	8%	10%	7%	2%	3%	9%	19%
北米	37%	18%	5%	6%	7%	6%	2%	9%	11%
カナダ	35%	18%	8%	3%	3%	9%	2%	7%	14%
米国	38%	18%	4%	7%	8%	5%	2%	10%	9%
メキシコ・中米・カリブ諸国	24%	18%	11%	5%	14%	4%	2%	6%	16%
南米	24%	18%	17%	6%	9%	4%	2%	5%	16%
西欧	30%	23%	7%	5%	6%	5%	2%	11%	10%
UK	31%	21%	5%	5%	5%	7%	4%	8%	13%
西欧(UK以外)	30%	23%	8%	5%	7%	4%	2%	12%	9%
アフリカ	31%	17%	12%	3%	11%	5%	6%	3%	10%
中東	29%	12%	9%	5%	19%	4%	3%	6%	14%
東欧・旧ソ連	25%	22%	9%	8%	10%	4%	0%	7%	15%

(黄色は調査した地域分類)

■: その地域・国で1番多く選ばれた項目、■: その地域・国で2番目に多く選ばれた項目

- ・2024年、世界全体で見ると「地球環境の変化を示す項目」として「気候変動」(30%)が最も多く選ばれた。
- ・地域別に見ても、全ての地域で「地球環境の変化を示す項目」として「気候変動」が選ばれた。世界中で気候変動を感じている。次いで、「生物圏保全性(生物多様性)」が、多くの地域で選ばれた。
- ・昨年、中東では「水資源」、東欧・旧ソ連では「社会、経済と環境、政策、施策」が選択率第1位であったが、2024年には両地域とも「気候変動」が選択率第1位となった。
- ・アジアに着目すると、「気候変動」の次の項目は、中国では「水資源」、台湾では「生物化学フロー(環境汚染)」、インドでは「生物圏保全性(生物多様性)」と「陸域系の変化(土地利用)」、韓国では「生物圏保全性(生物多様性)」、日本では、「社会、経済と環境、政策、施策」が選ばれ、同じアジアの中でも違いが見られる。

III-1-2-4. 地球環境の変化を示す項目の環境危機時計®の時刻の地域分布

表7 地球環境の変化を示す項目の環境危機時計®の時刻の地域分布

	加重平均時刻	1. 気候変動	2. 生物圏保全性(生物多様性)	3. 陸域系の変化(土地利用)	4. 生物化学汚染(環境汚染)	5. 水資源	6. 人口	7. 食糧	8. ライフスタイル	9. 社会、経済と環境、政策、施策
世界	9:27	9:33	9:46	9:12	9:13	9:07	9:18	8:59	9:20	9:33
アジア(全)	9:18	9:23	9:26	9:05	9:04	-	-	-	-	9:26
日本	9:37	9:39	10:02	9:17	9:25	8:12	9:26	9:17	9:05	9:32
インド	9:11	9:26	8:40	9:25	8:01	7:57	10:49	-	-	10:12
中国	9:13	9:28	8:57	9:19	9:13	9:19	9:01	8:54	9:00	9:22
台湾	8:21	8:04	8:10	7:58	8:38	8:33	8:27	9:32	8:45	8:31
韓国	9:10	9:17	9:18	6:23	8:39	8:56	7:58	8:53	9:06	9:38
アジア(上記5か国を除く)	9:33	9:33	10:01	9:46	9:41	9:32	9:39	8:51	8:38	9:06
オセアニア	10:03	10:18	10:42	9:38	-	-	8:58	-	-	10:37
オーストラリア	10:09	10:29	10:47	9:33	-	-	9:05	-	-	10:29
オセアニア(豪以外)	9:47	9:42	-	-	-	-	-	-	-	10:47
北米	10:17	10:15	10:21	10:05	10:18	-	10:58	-	10:04	10:16
カナダ	9:59	9:45	9:08	9:58	-	-	11:09	-	10:59	10:18
米国	10:23	10:25	10:40	-	10:13	9:37	10:52	-	9:52	10:15
メキシコ・中米・カリブ諸国	9:23	9:42	10:18	9:05	-	8:59	8:51	-	-	9:38
南米	9:11	9:16	9:18	9:21	9:02	9:05	9:40	-	9:50	9:07
西欧	10:15	10:23	10:29	9:31	10:19	9:27	9:56	-	10:03	10:32
UK	10:14	10:33	10:46	-	-	8:37	9:28	-	10:25	10:43
西欧(UK以外)	10:15	10:19	10:25	9:32	10:28	9:16	10:34	-	9:59	10:29
アフリカ	8:45	8:29	8:45	8:54	-	8:41	10:23	8:14	-	8:14
中東	8:34	8:09	-	-	-	8:18	-	-	-	8:28
東欧・旧ソ連	9:45	10:12	10:17	6:26	-	-	-	-	-	10:01

回答者数が2名以下の地域、1名以下の国の時刻は示していない。

■: 11:00-11:59, □: 10:00-10:59, □: 9:00-9:59, ■: 8:00-8:59, ■: 8:00 以前

- ・世界の環境危機時計®の時刻は9時27分であるが、地球環境の変化を示す項目としては、「生物圏保全性(生物多様性)」(9時46分)が2位の「気候変動」「社会、経済と環境、政策、施策」(9時33分)と比べて進んでいる。「食糧」(8時59分)は唯一、8時台となった。
- ・地域ごとに見て危機意識が相対的に高い(10時30分以降)のは、オセアニアの「生物圏保全性(生物多様性)」(10時42分)、「社会、経済と環境、政策、施策」(10時37分)、北米の「人口」(10時58分)、西欧の「社会、経済と環境、政策、施策」(10時32分)である。
- ・地域ごとに見て危機意識が相対的に低い(9時以前)のは、オセアニアでは「人口」(8時58分)、メキシコ・中米・カリブ諸国では「水資源」(8時59分)、「人口」(8時51分)である。アフリカでは「人口」(10時23分)以外は回答のあった全てが9時以前となっている。

III-1-2-5. 地域別地球環境の変化を示す項目(第1～3位選択)の分布
(項目ごとの環境危機時計®の時刻と選択率)

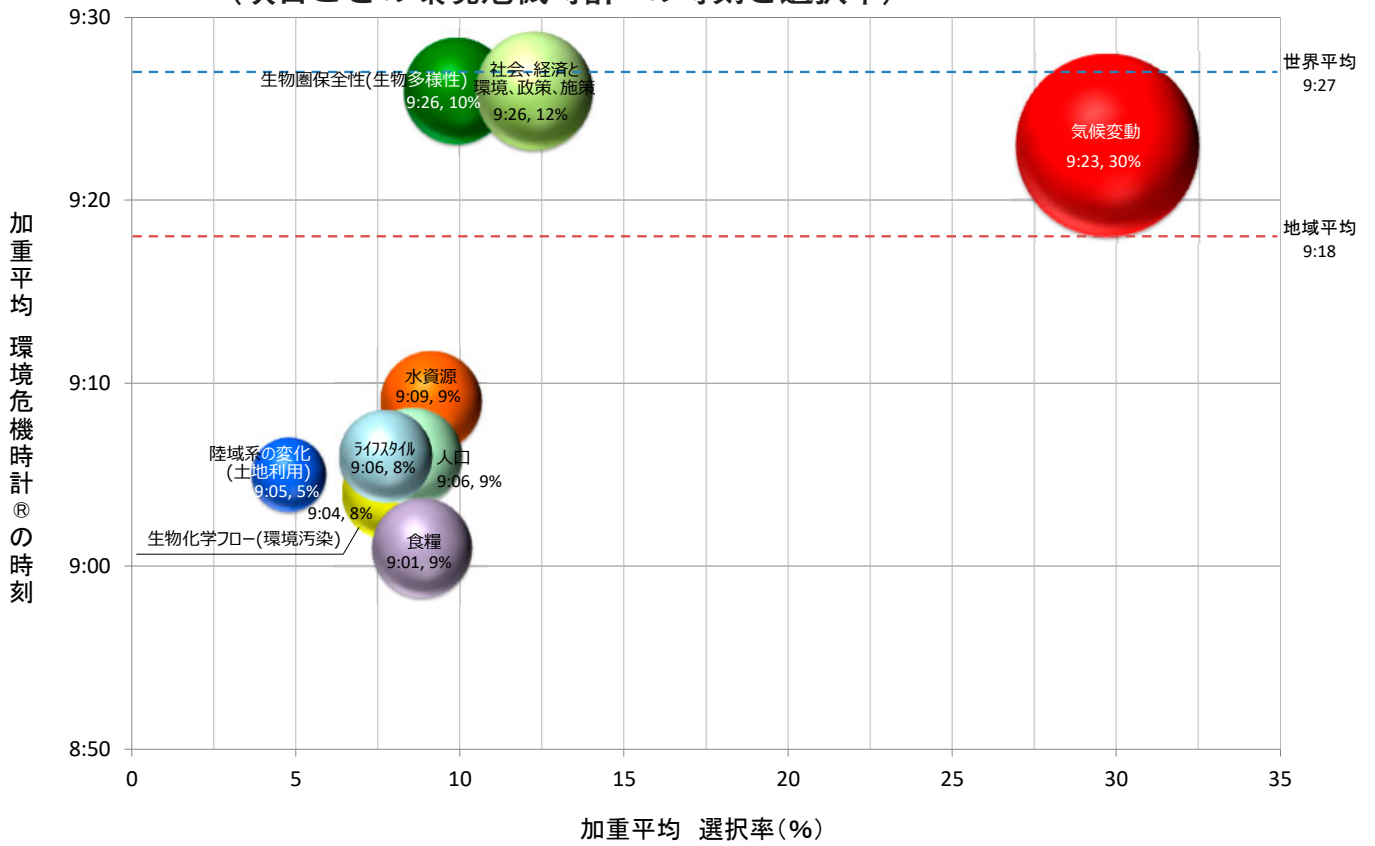


図8-1 全アジア

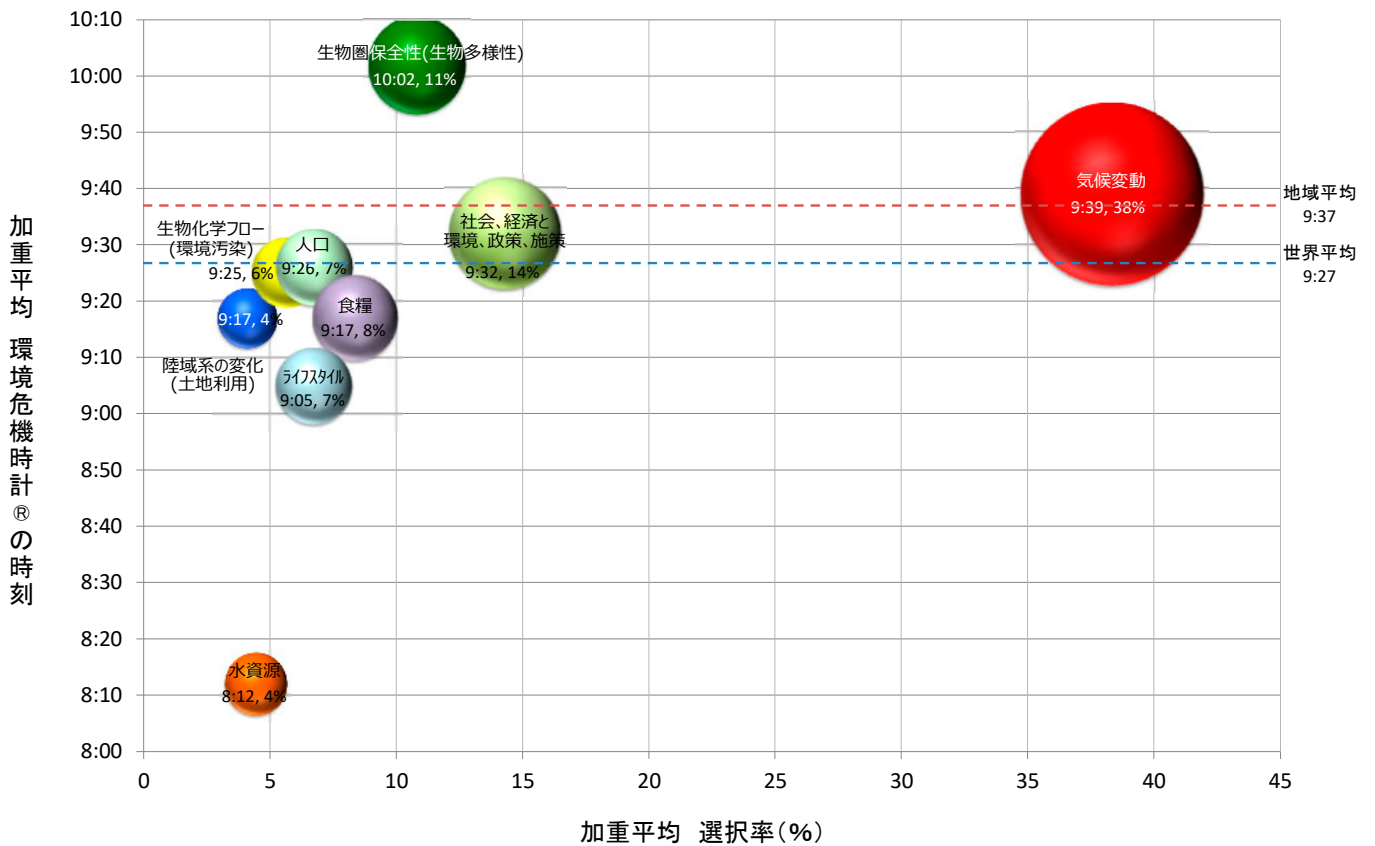


図8-2 日本

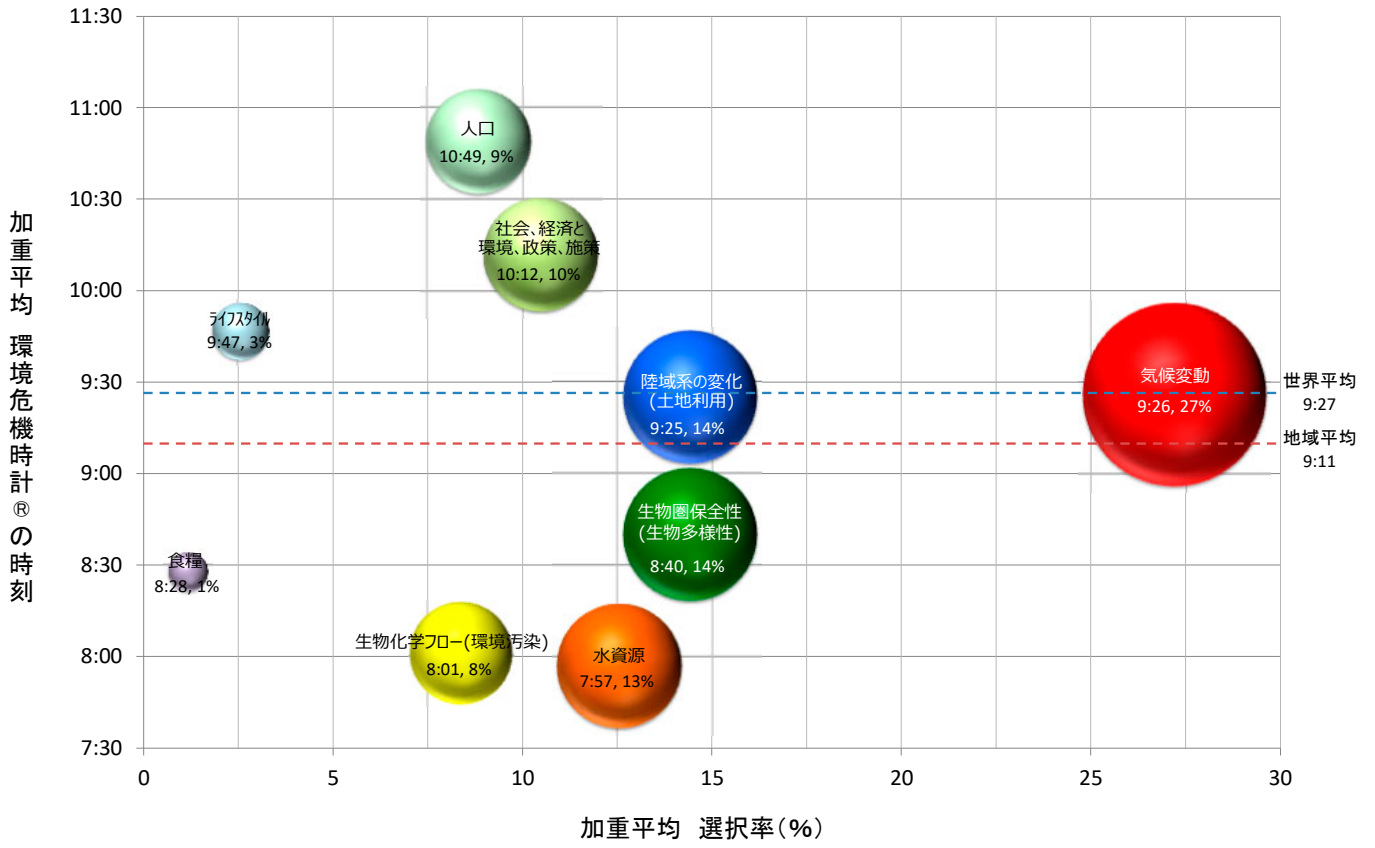


図8-3 インド

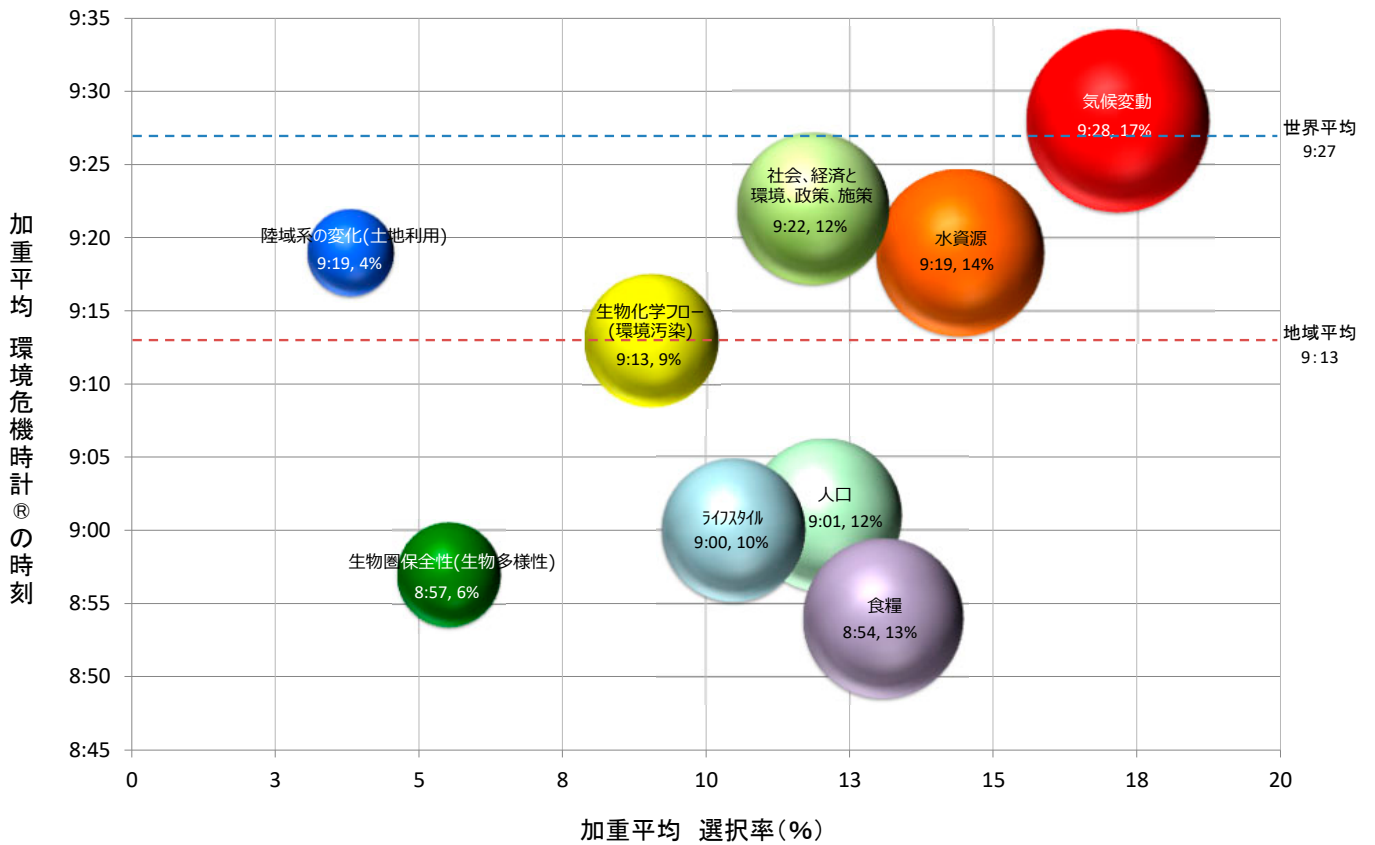


図8-4 中国

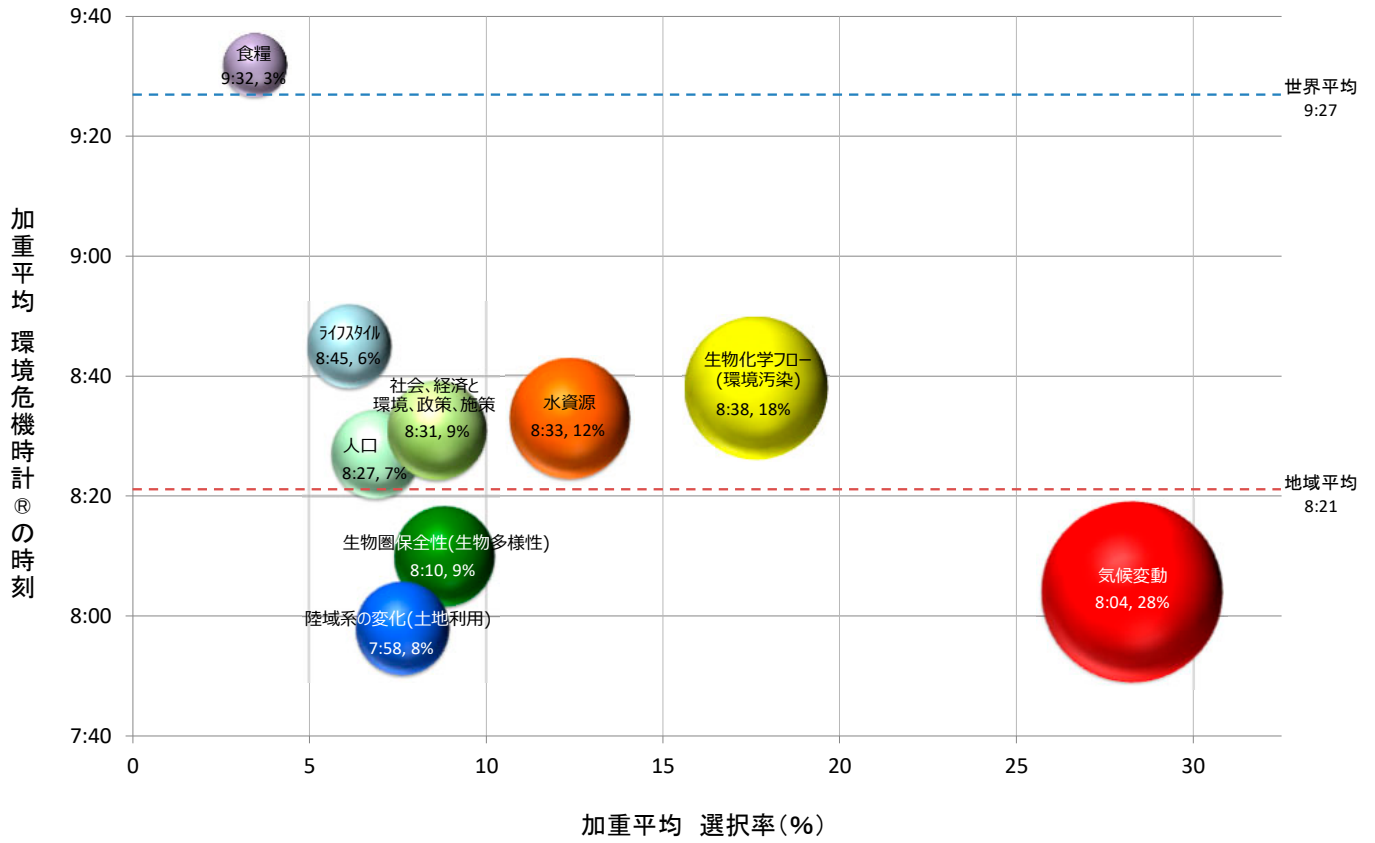


図8-5 台湾

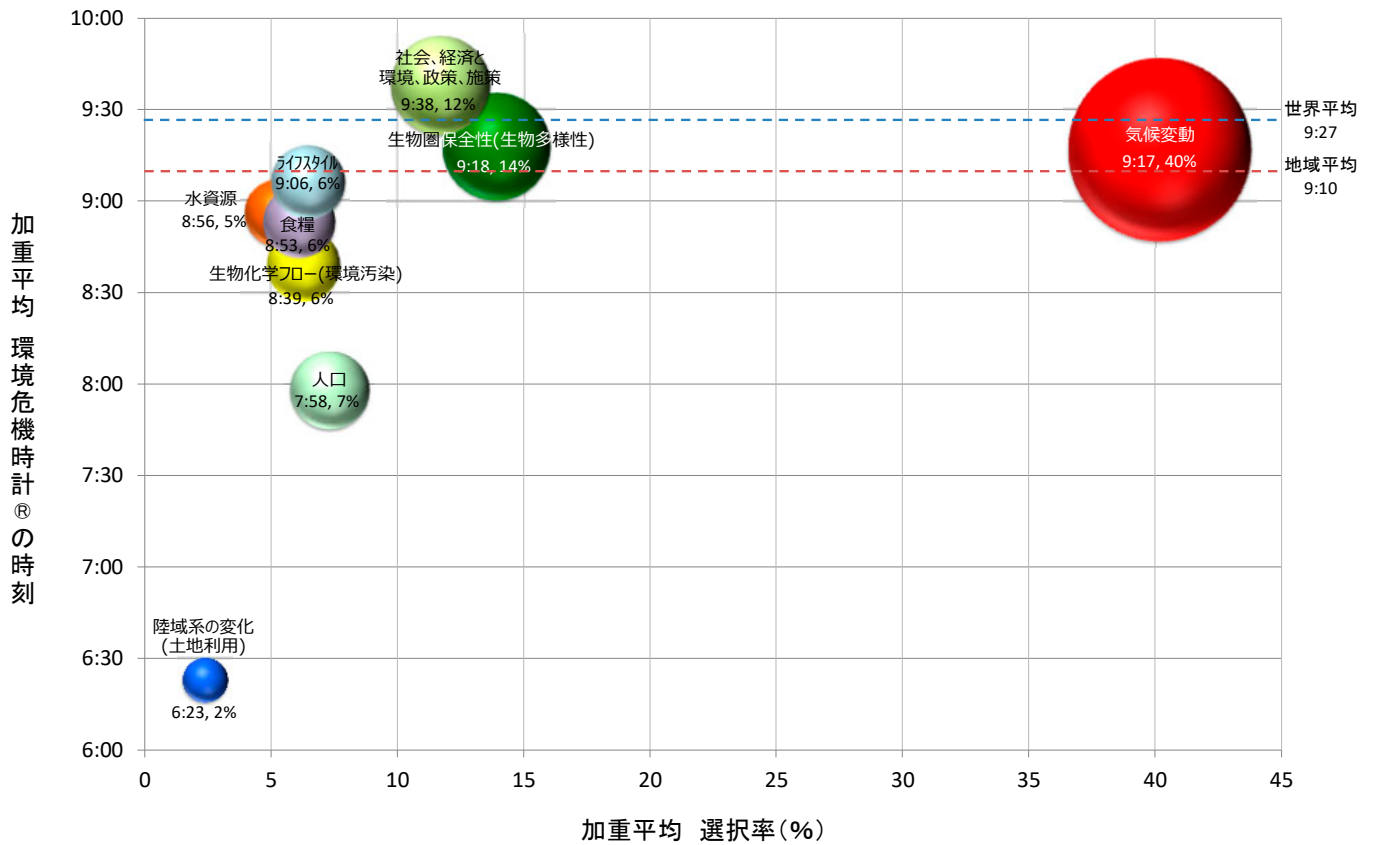


図8-6 韓国

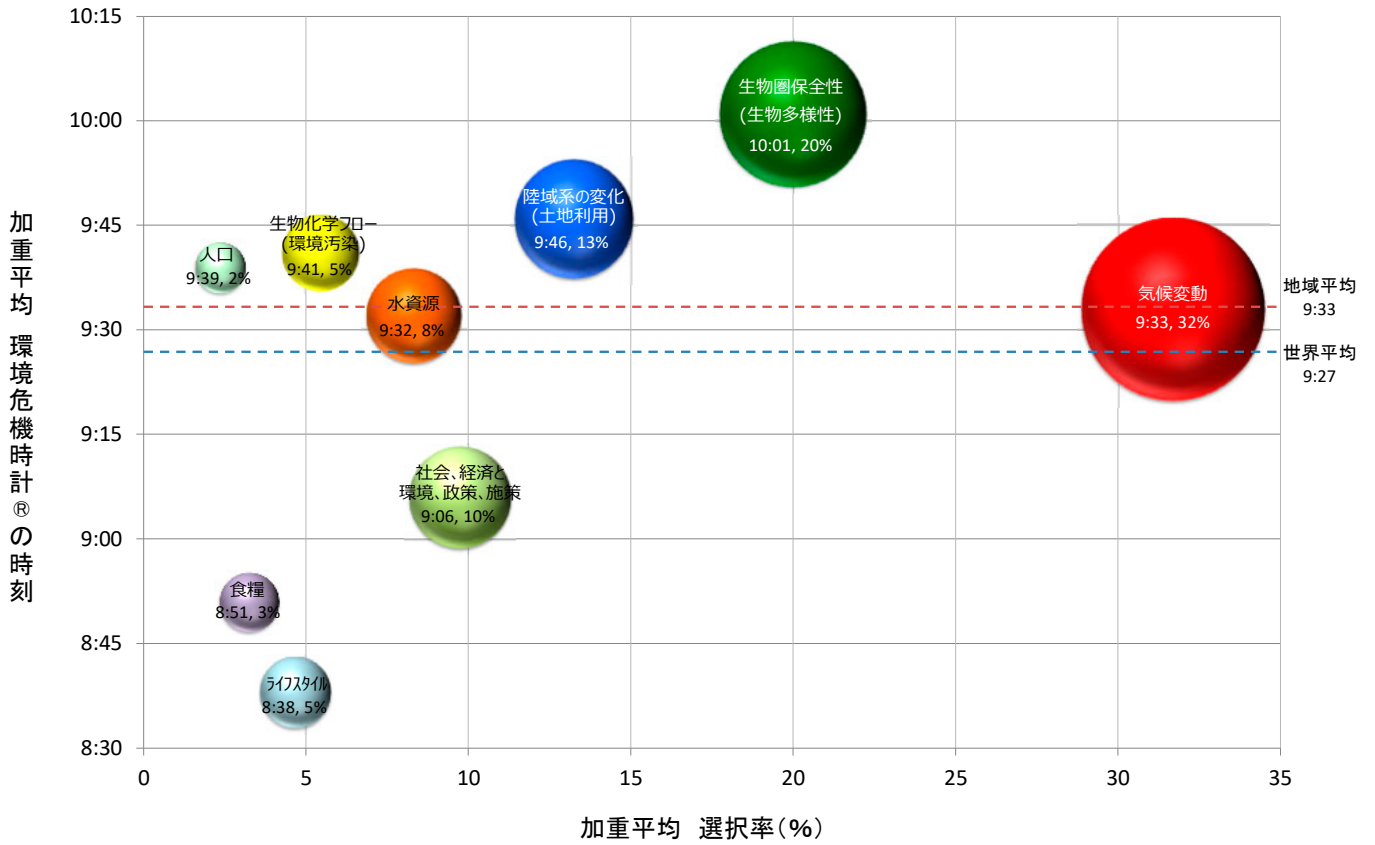


図8-7 アジア(日、印、中、台、韓以外)

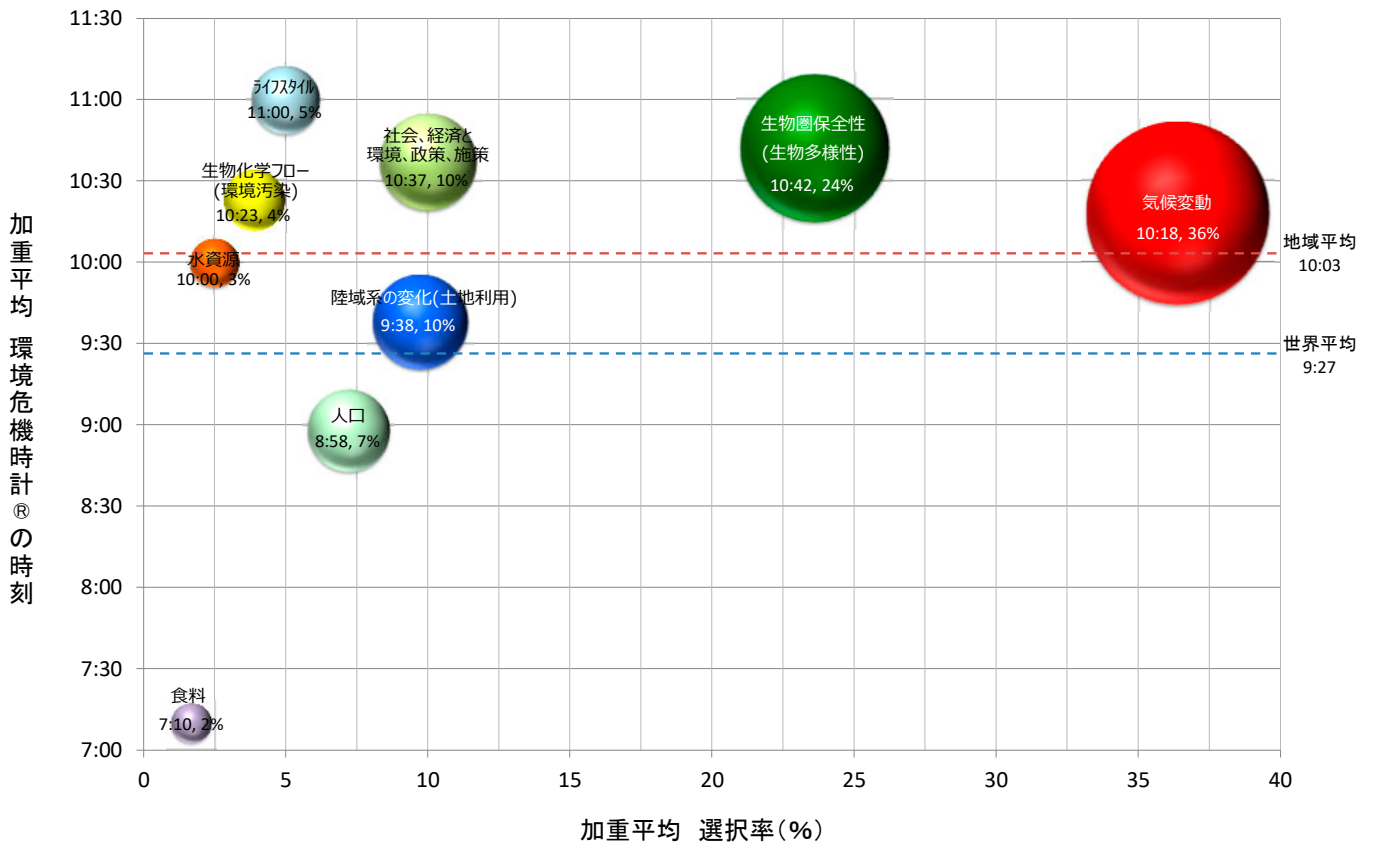


図9-1 オセアニア

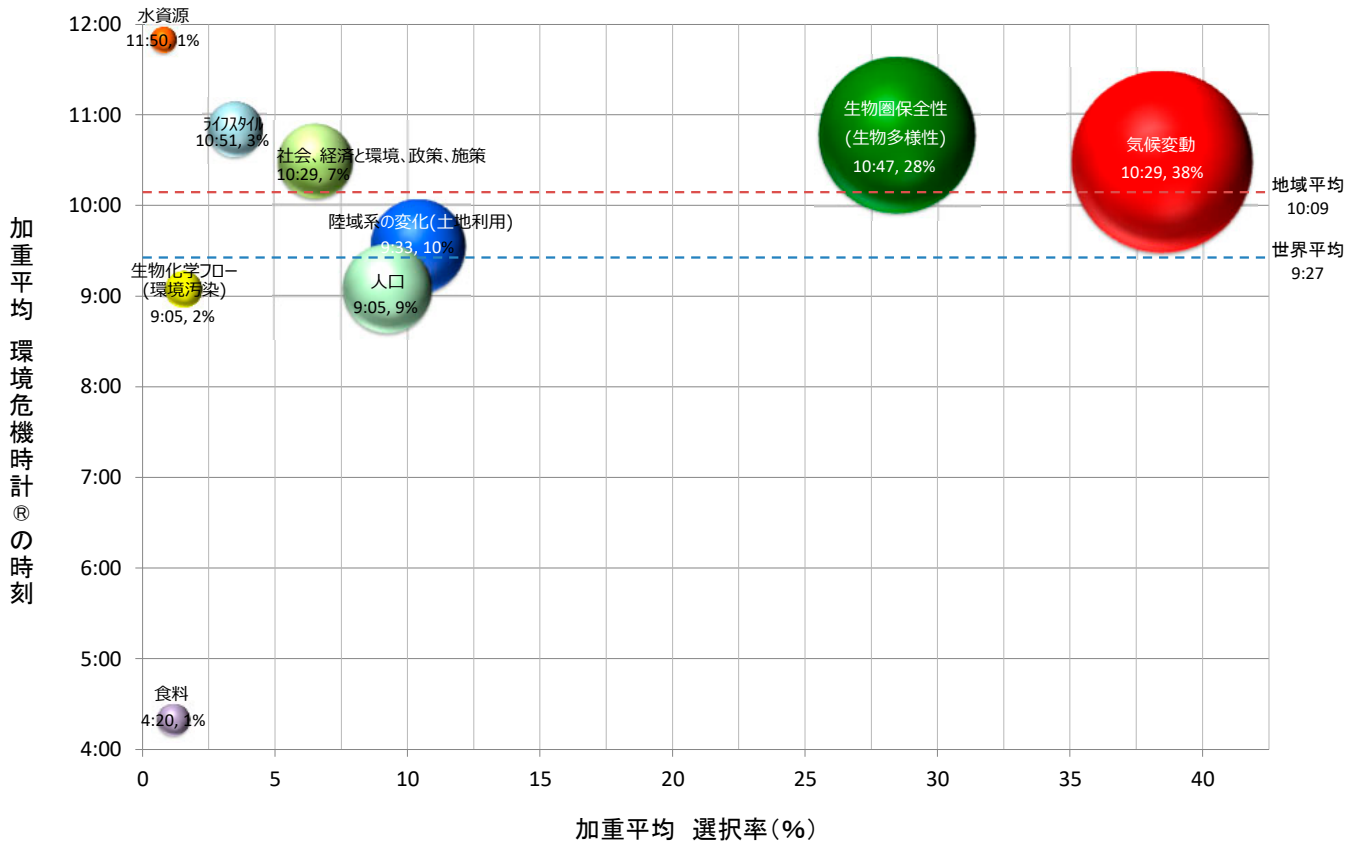


図9-2 オーストラリア

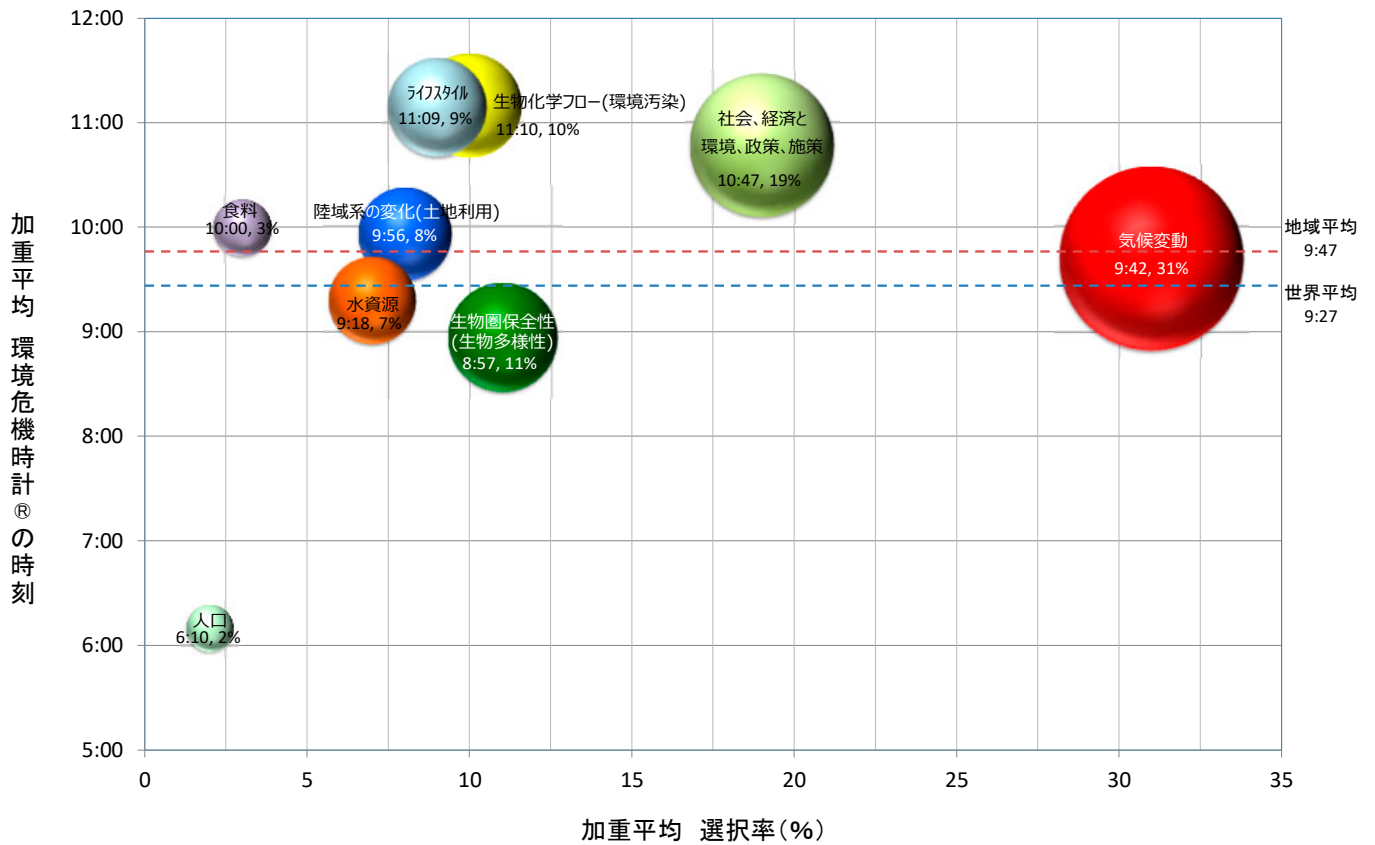


図9-3 オセアニア (豪以外)

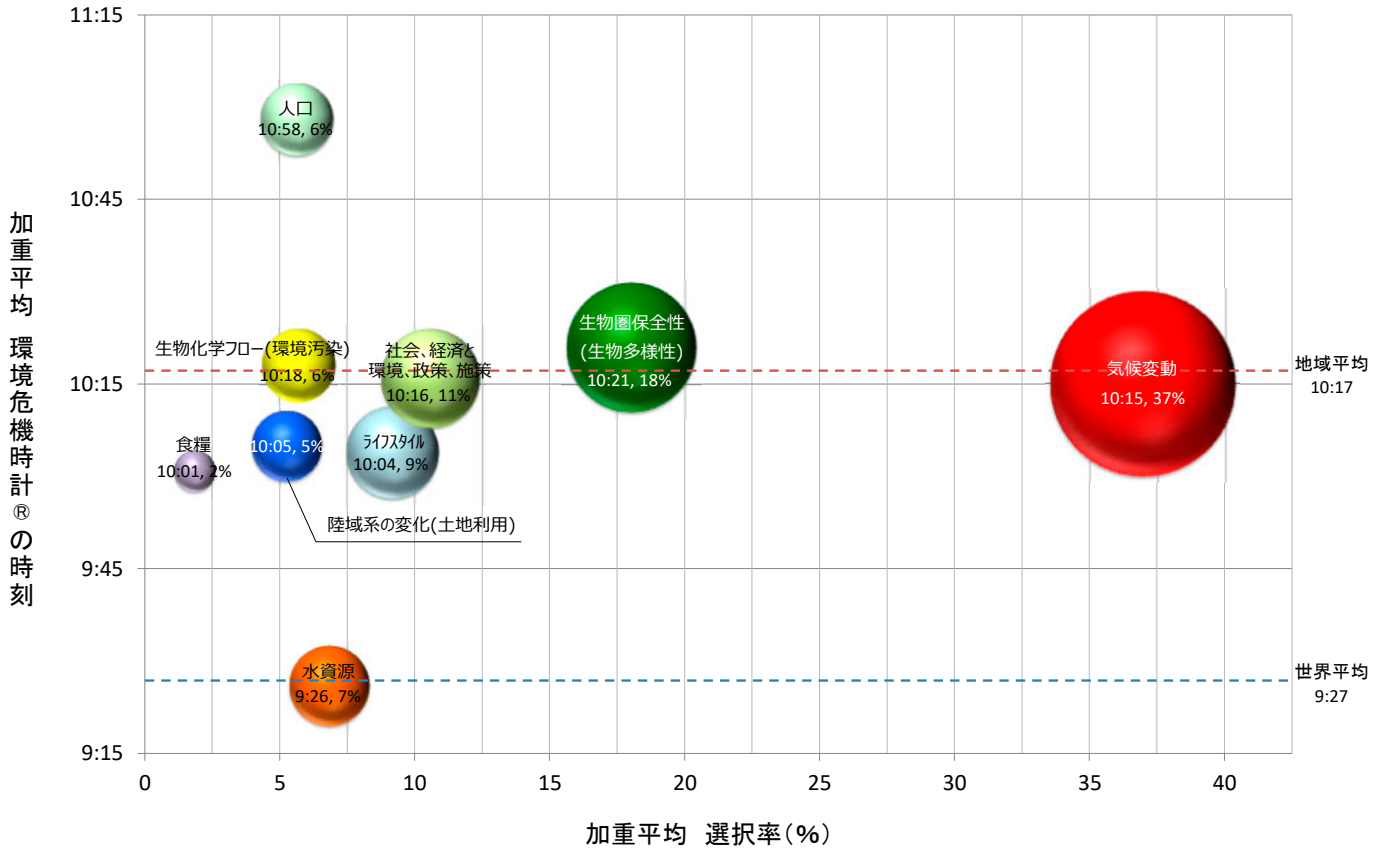


図10-1 北米

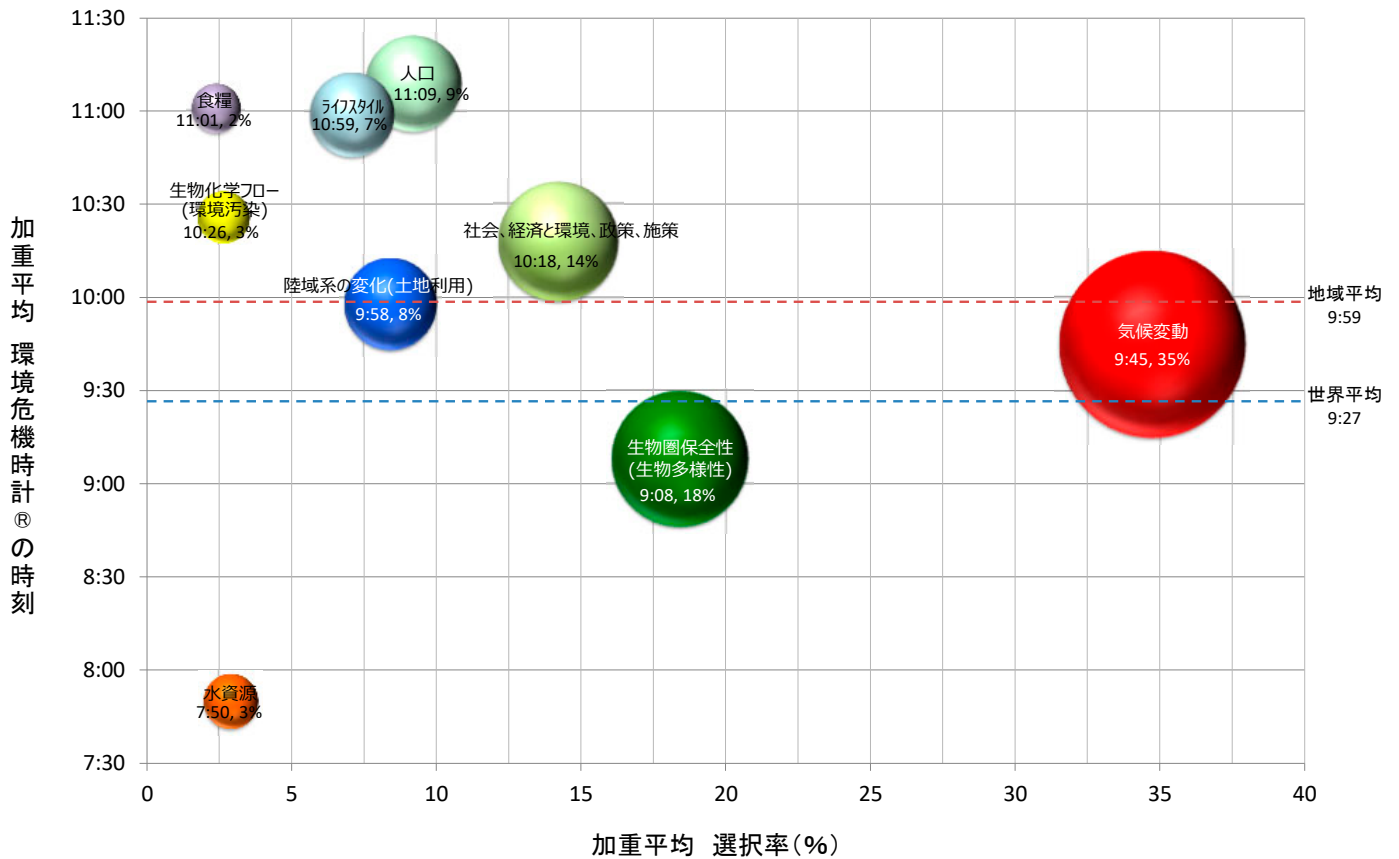


図10-2 カナダ

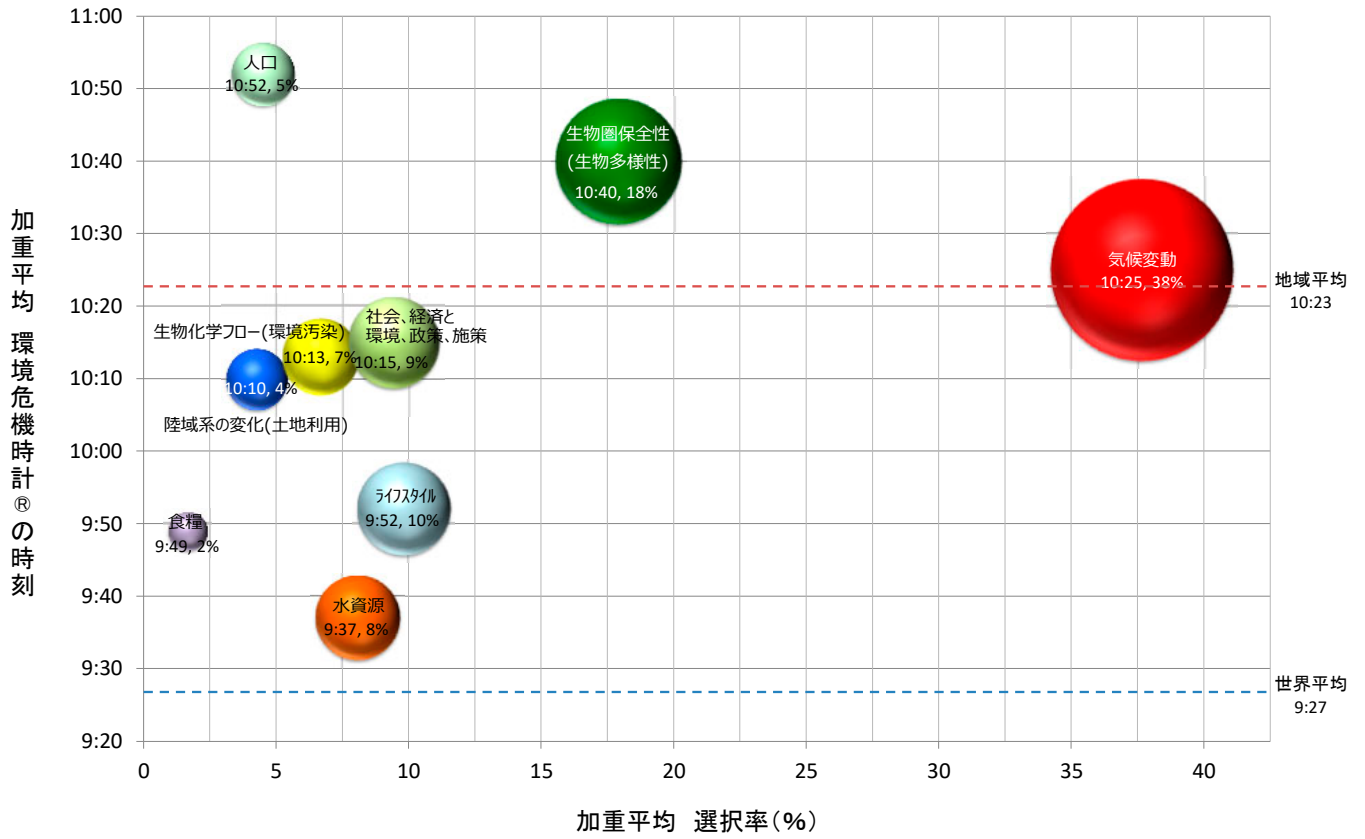


図10-3 米国

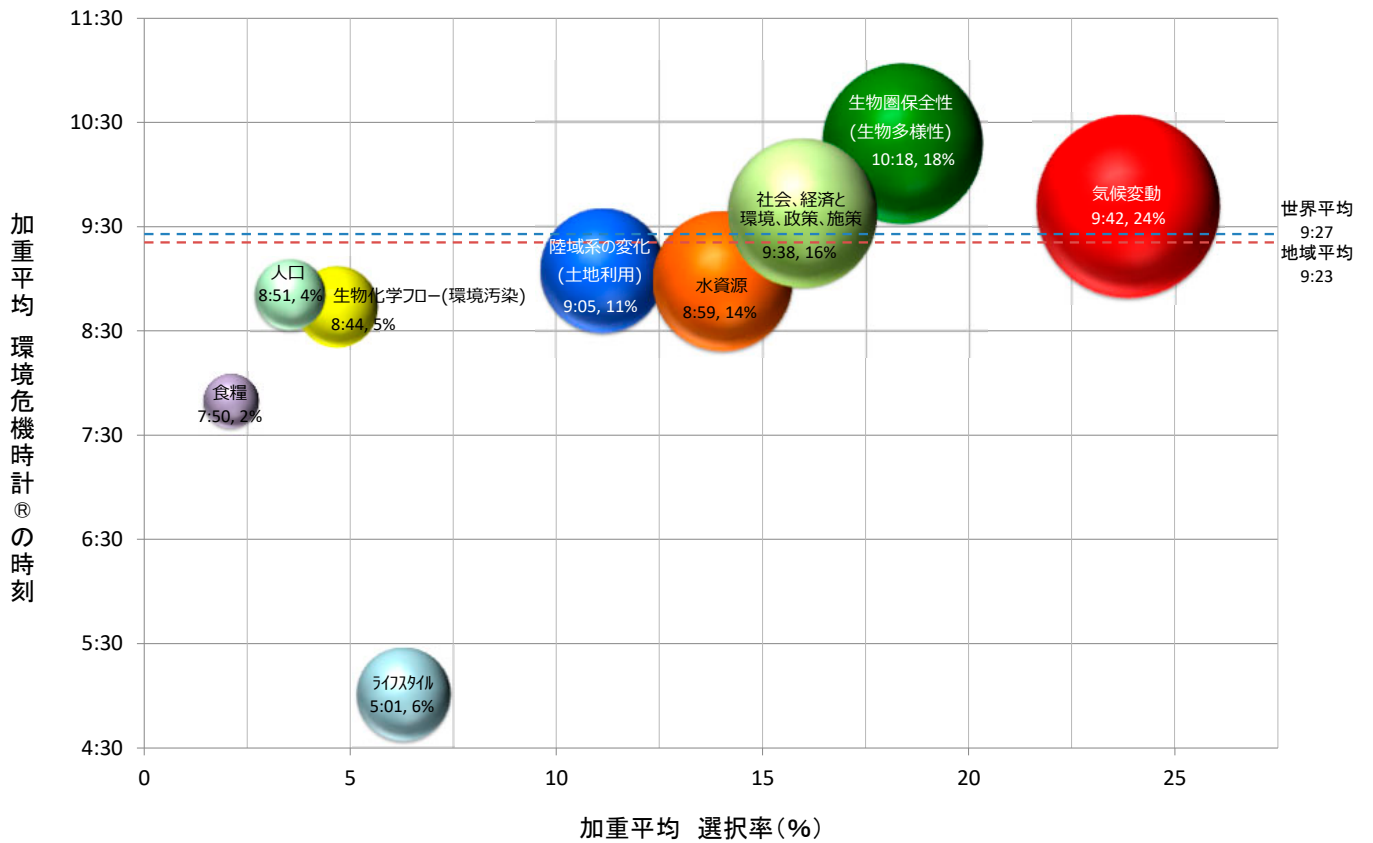


図11 メキシコ・中米・カリブ諸国

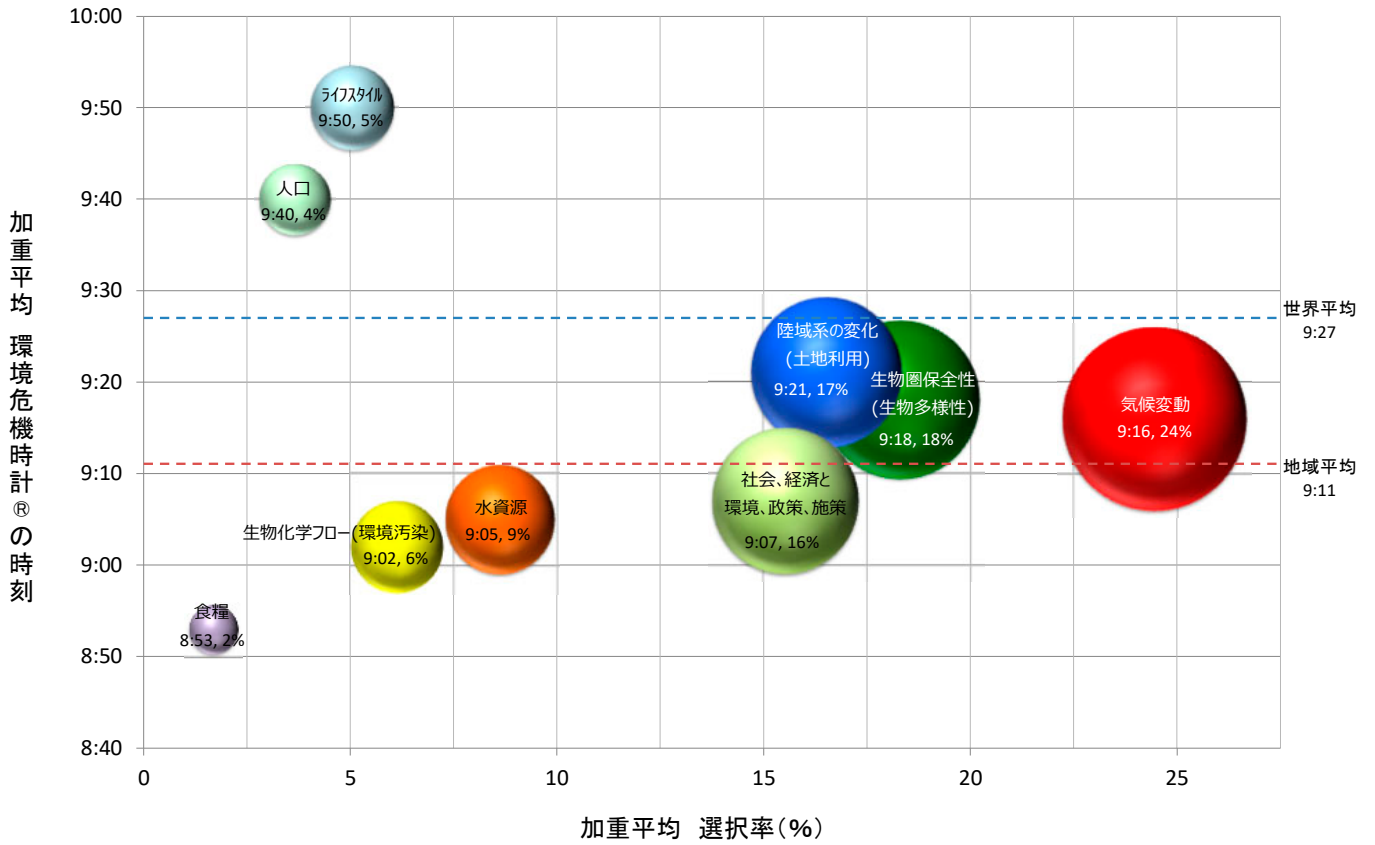


図12 南米

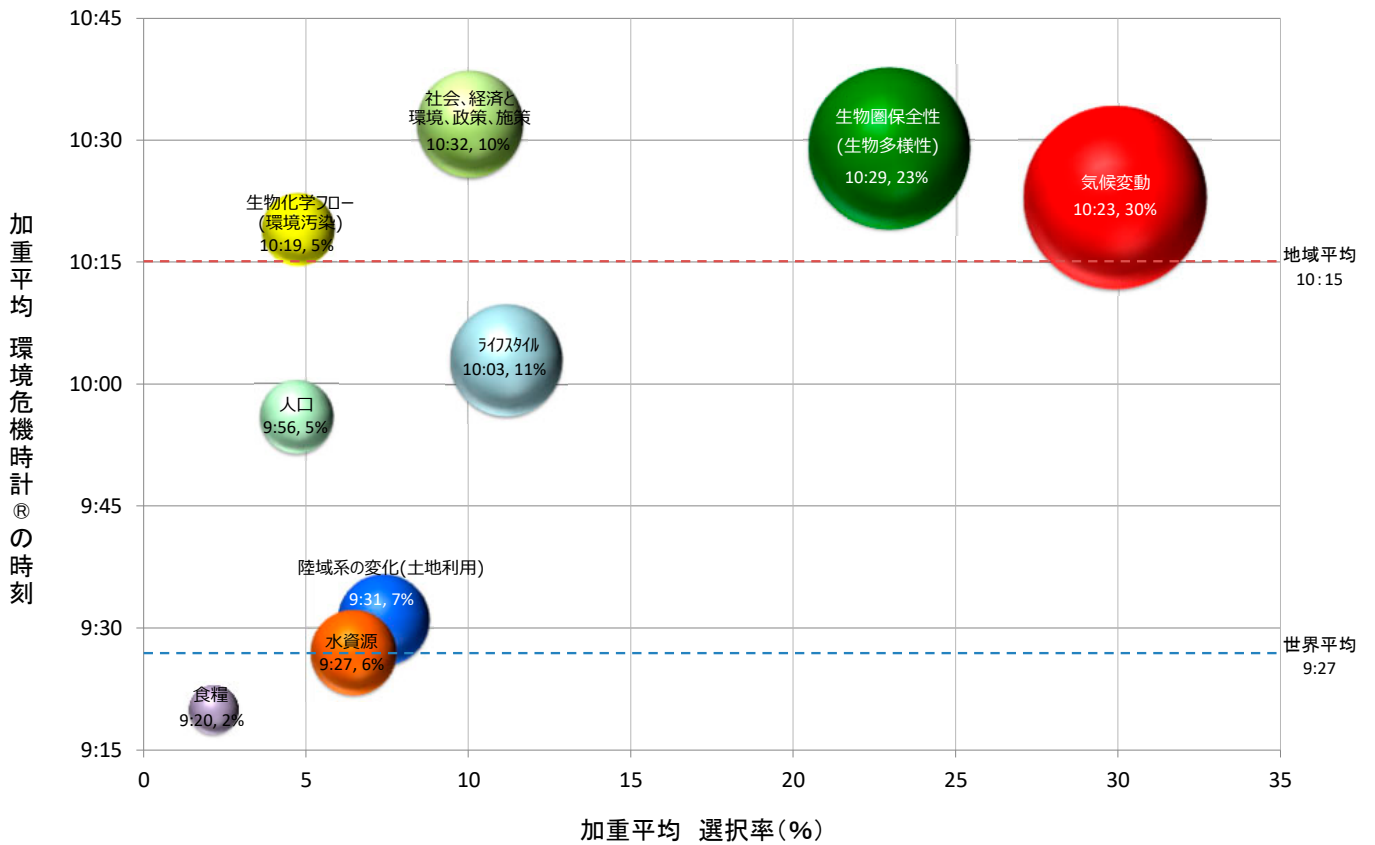


図13-1 西欧

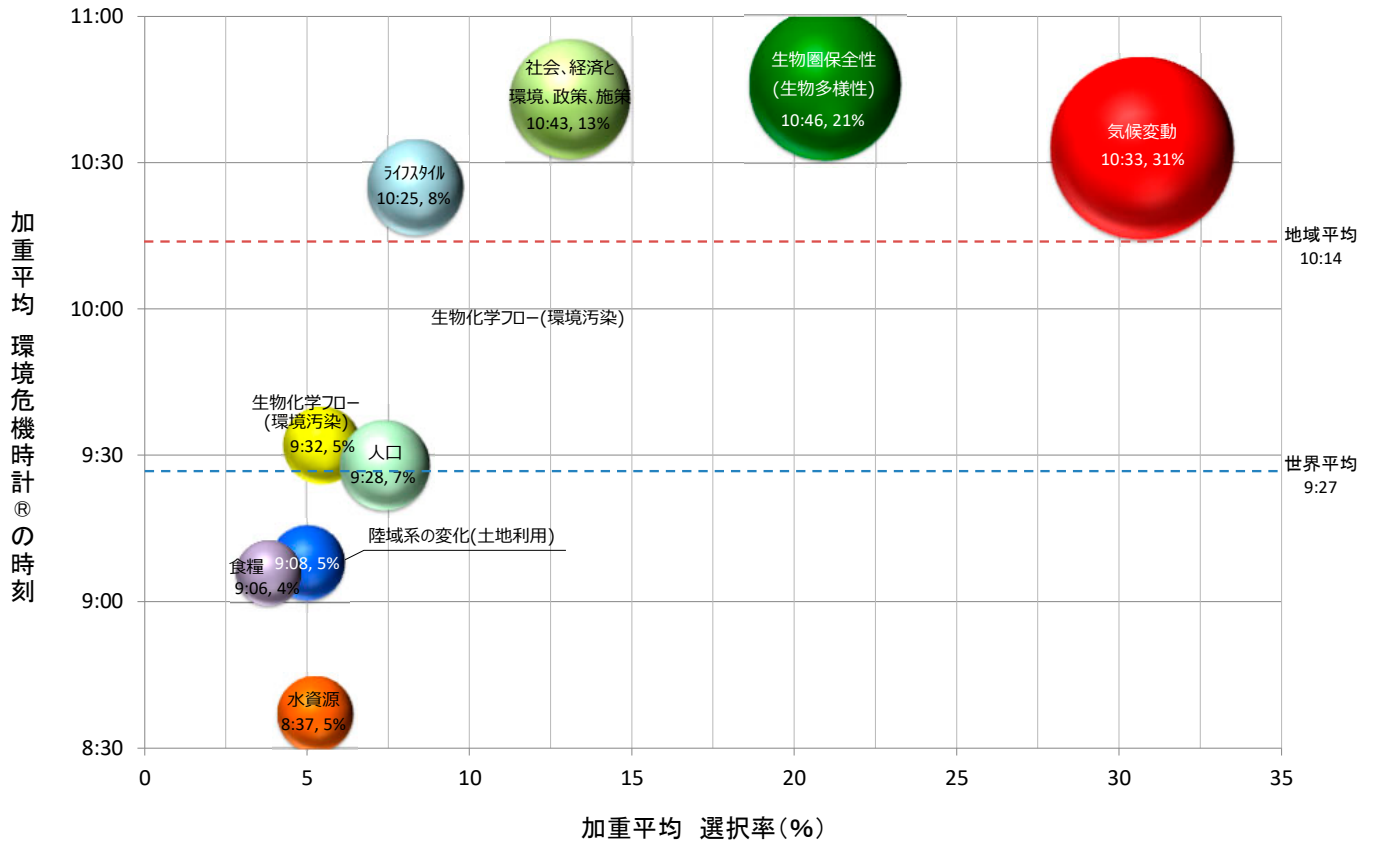


図13-2 英国

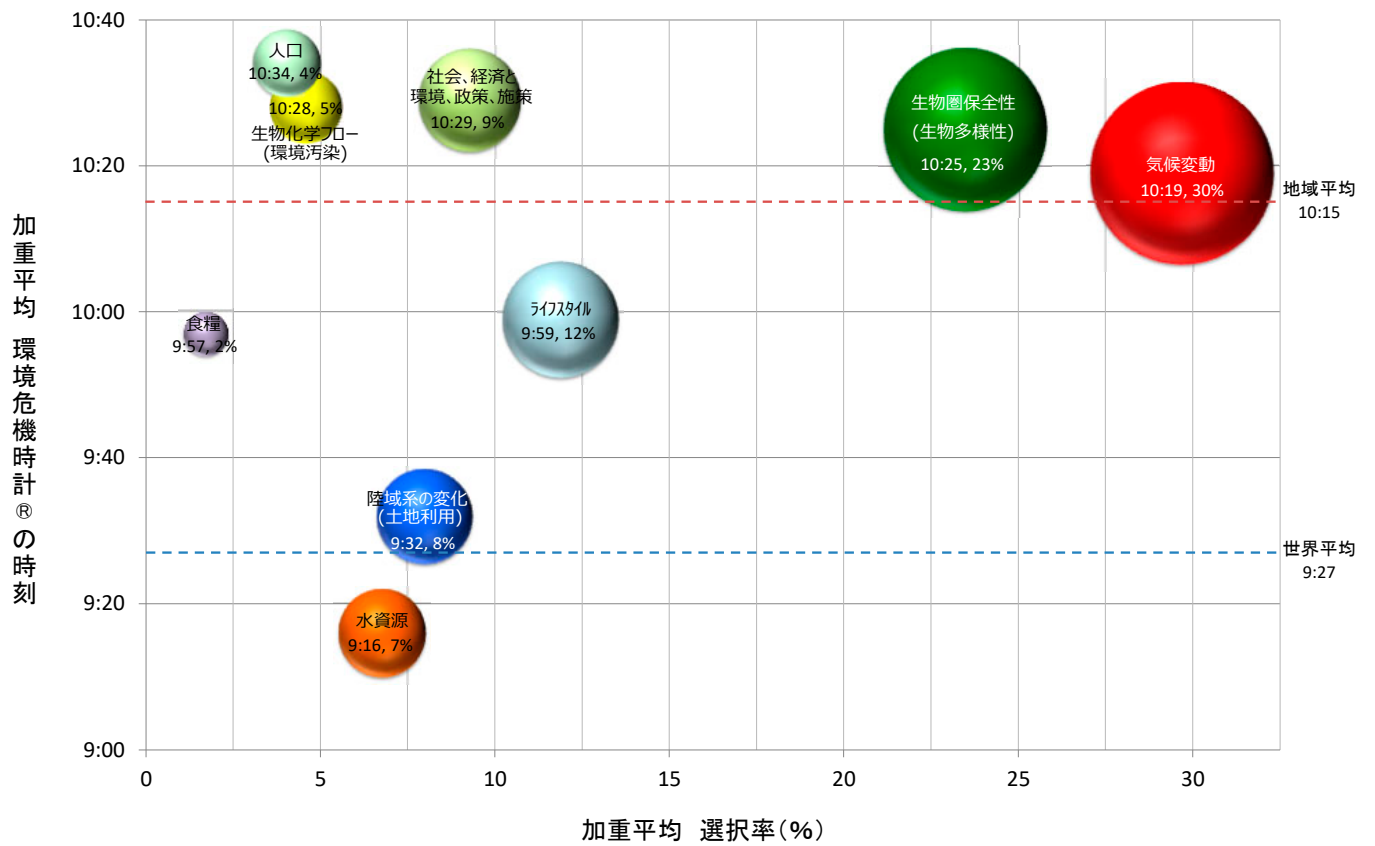


図13-3 西欧(英以外)

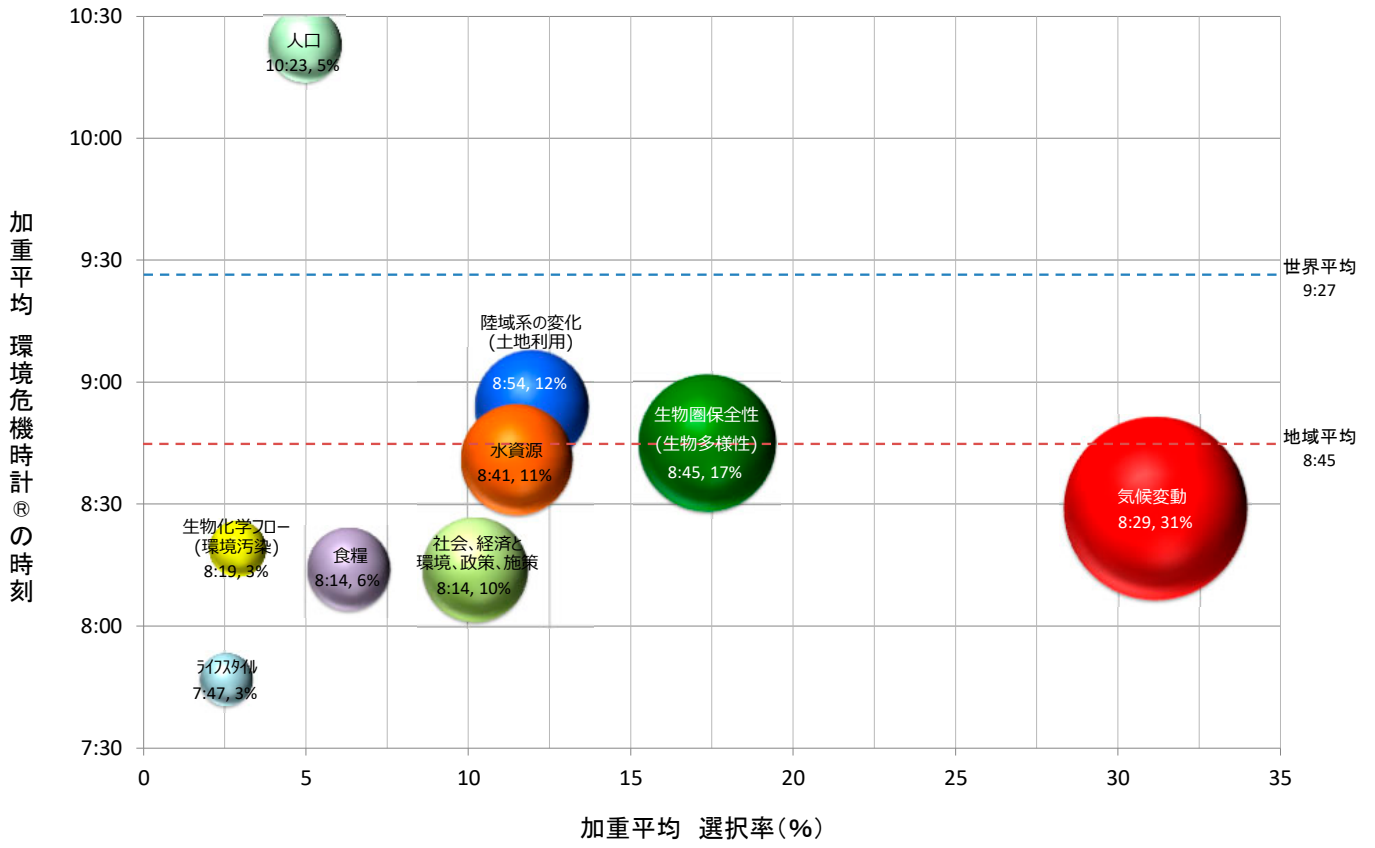


図14 アフリカ

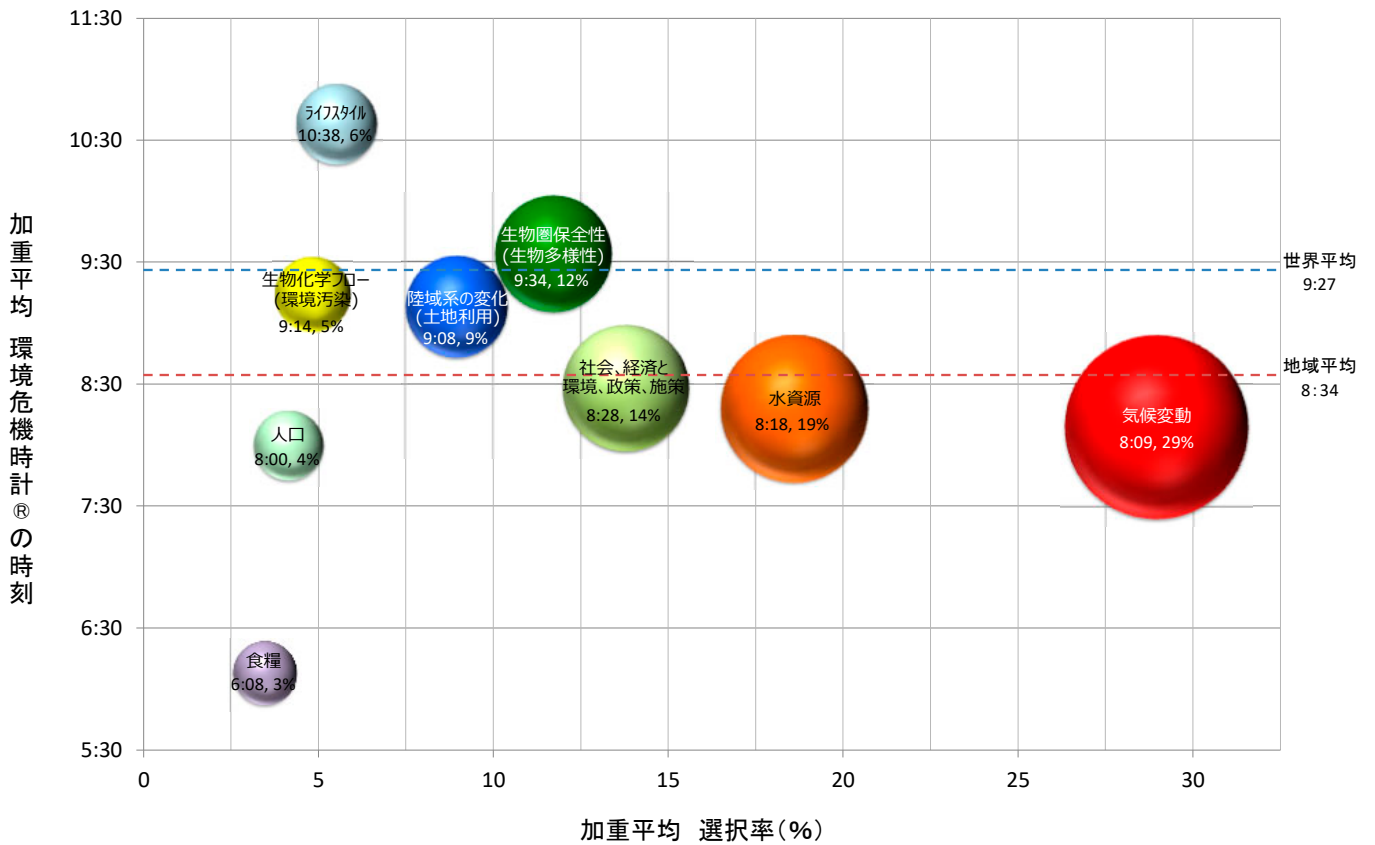
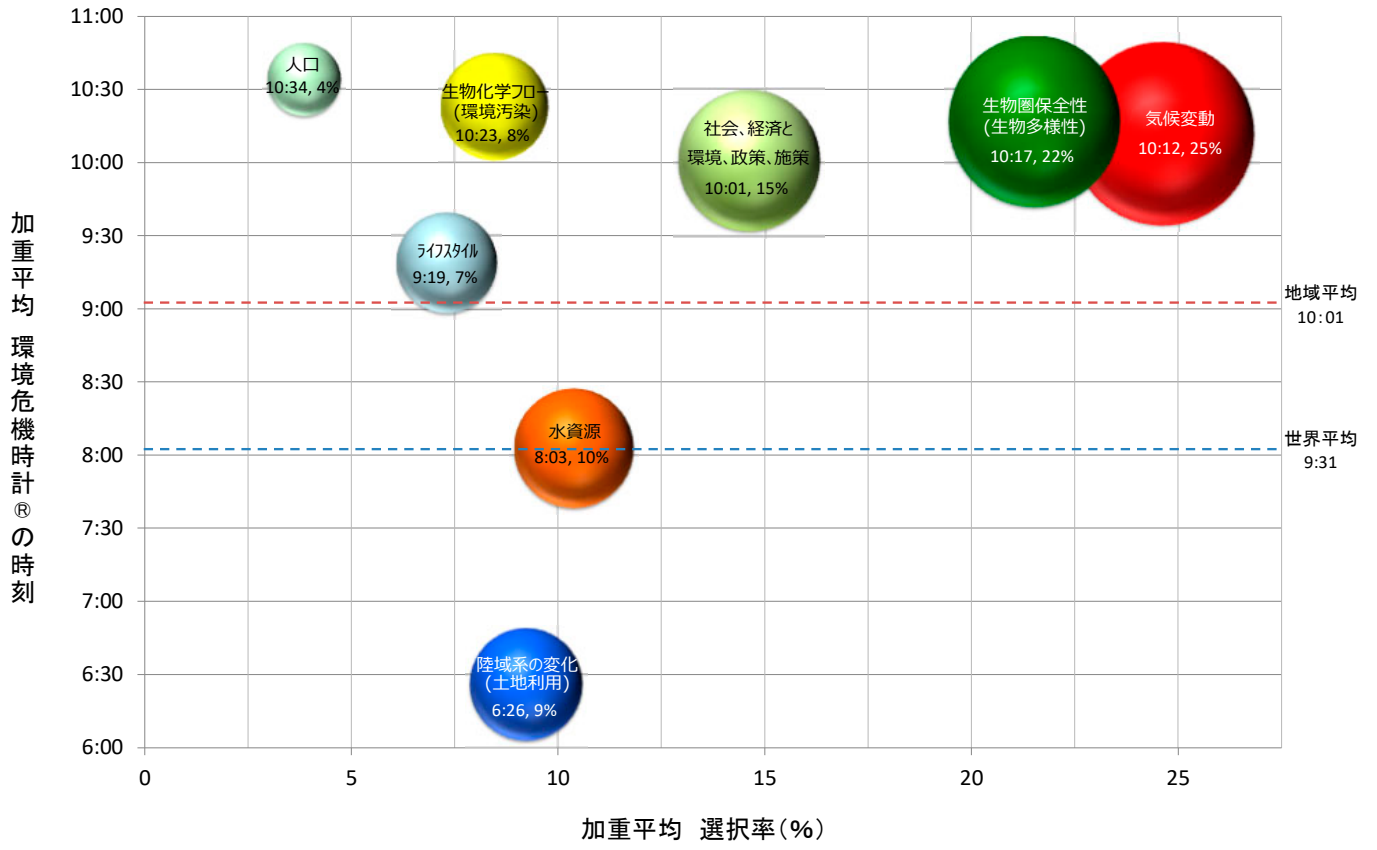


図15 中東



加重平均 選択率(%)
図16 東欧・旧ソ連

III-2. 「気候変動問題」と「生物多様性の喪失」の問題に関する認識

地球環境問題の中で、「気候変動問題」と「生物多様性の喪失」の問題には特に大きな関心が集まっている。「一般の人々の意識」、「政策・法制度」、「社会基盤（資金・人材・技術・設備）」の三つの観点から、地球温暖化抑制のための「脱炭素社会への転換」と「野生生物の生息地の保全・再生」の自国内での進捗の認識について質問した。

「全く進んでいない」を-2、「どちらかといえば進んでいない」を-1、「どちらともいえない」を0、「どちらかといえば進んでいる」を+1、「確実に進んでいる」を+2として、各回答に数値を割り当て、平均スコアを算出。地域・国・組織・世代ごとの平均値の算出にあたっては、30以上の標本数を対象にした。

問2-1 地球温暖化への取り組みを促進するため、2015年にパリ協定、SDGsが採択されました。2015年以前と比較して、以下の3つの観点からお答えください。
あなたの住んでいる国・地域で脱炭素社会への転換は進んでいると思いますか。

全世界の平均値と地域・国ごとの平均値を表8に示す。世界平均は下記の通りとなった。

・一般の人々の意識	+0.73
・政策、法制度	+0.56
・社会基盤（資金・人材・技術・設備）	+0.36

- ・全体として、脱炭素社会への転換については、「政策・法制度」や「社会基盤」の面は、「一般の人々の意識」ほど進んでいないという結果となった。
- ・アジアの中で、日本と韓国は、「一般の人々の意識」、「政策・法制度」、「社会基盤」のどの面でもポイントが最も小さい。
- ・国や地域により「一般の人々の意識」と「政策、法制度」の進み具合のとらえ方に差が見られた。中国、台湾では両者の差は小さく、「政策、法制度」が「一般の人々の意識」よりやや進んでいるという結果であった。これに対し、オセアニア、北米、西欧では両者の差が大きく、「政策、法制度」が「一般の人々の意識」よりも大きく遅れているという結果となっている。上記の傾向はここ3年間変わっていない。
- ・中国では「政策、法制度」、「社会基盤」の面で、3年続けて世界で最も高い値になっている。政府主導で脱炭素社会への転換が進んでいると考える回答者が多いようである。
- ・組織別に見ると、企業関係者は他の組織よりも「政策・法制度」、「社会基盤」の面で脱炭素社会への転換が進んでいるとの考えが以前から強い。中央政府の関係者は「一般の人々の意識」が年々良い方向に変わってきていると考えている。
- ・世代別に見ると、20代、30代の若い世代は、他の世代に比べて「政策、法制度」、「社会基盤」の面で脱炭素社会への転換が進んでいるとの考えが強い。

表8 「脱炭素社会への転換の進み具合」に関する世界平均と地域、属性別平均

脱炭素社会への転換		一般の人々の意識			政策、法制度			社会基盤		
		2022	2023	2024	2022	2023	2024	2022	2023	2024
世界全体		0.81	0.77	0.73	0.47	0.52	0.56	0.43	0.38	0.36
地域	アジア(全)	0.74	0.67	0.68	0.65	0.64	0.64	0.51	0.50	0.45
	日本	0.54	0.47	0.46	0.28	0.29	0.29	0.23	0.24	0.11
	インド	0.86	0.80	0.95	0.55	0.45	0.72	0.36	0.32	0.28
	中国	1.10	0.90	1.04	1.18	1.15	1.23	1.01	0.97	1.03
	台湾	0.35	0.49	0.54	0.52	0.53	0.67	0.26	0.38	0.52
	韓国	0.30	0.43	0.33	0.07	-0.45	-0.01	-0.11	-0.47	-0.09
	アジア(日、印、中、台、韓以外)	0.73	0.88	0.73	0.50	0.69	0.75	0.28	0.22	0.26
	オセアニア	1.26	1.36	1.11	0.26	0.45	0.11	0.43	0.32	0.03
	オーストラリア	1.43	1.47	1.23	0.29	0.71	0.19	0.54	0.44	0.23
	北米	1.17	1.26	1.03	0.13	0.41	0.46	0.47	0.32	0.46
	カナダ	1.11	1.10	0.92	0.08	0.24	0.26	0.36	-0.07	0.11
	米国	1.18	1.30	1.07	0.14	0.45	0.53	0.50	0.43	0.58
	メキシコ・中米・カリブ諸国	0.43	0.45	0.16	-0.21	0.11	-0.08	0.06	-0.15	-0.26
	南米	0.51	0.43	0.25	-0.16	0.07	0.11	0.04	0.19	-0.28
	西欧	1.15	1.12	1.18	0.28	0.34	0.52	0.31	0.27	0.31
	英国	1.35	1.25	1.29	0.29	0.48	0.60	0.23	0.23	0.36
	西欧(英以外)	1.08	1.08	1.15	0.28	0.30	0.50	0.33	0.28	0.29
	アフリカ	0.45	0.58	0.62	0.39	0.28	0.69	0.19	-0.17	0.10
	中東	0.82	0.74	0.62	0.32	0.11	0.69	0.38	0.21	0.62
東欧・旧ソ連	1.06	0.93	0.81	-0.03	0.27	0.46	-0.03	-0.30	0.31	
組織	中央政府	0.88	1.07	1.00	0.66	0.84	0.90	0.46	0.48	0.56
	地方自治体	0.63	0.59	0.65	0.50	0.54	0.68	0.50	0.65	0.44
	大学・研究機関	0.74	0.67	0.62	0.29	0.37	0.40	0.28	0.26	0.19
	NGO/NPO	0.75	0.84	0.71	0.30	0.26	0.32	0.26	0.16	0.15
	企業	1.01	0.87	0.93	1.00	1.02	1.02	0.86	0.77	0.82
	ジャーナリズム	1.06	0.74	0.85	0.56	0.30	0.67	0.66	0.48	0.54
	その他	0.70	0.70	0.51	0.16	0.30	0.19	0.19	0.18	-0.01
世代	20代・30代	0.85	0.82	0.74	0.82	0.80	0.78	0.72	0.67	0.60
	40代・50代	0.75	0.75	0.71	0.37	0.45	0.46	0.30	0.28	0.22
	60代以上	0.82	0.73	0.73	0.19	0.27	0.38	0.25	0.17	0.22

(黄色は調査した地域分類)

*1 ■: その年の最大値, ■: その年の最小値, ■: 注目値

*2 「全く進んでいない」を-2、「どちらかといえば進んでいない」を-1、「どちらともいえない」を0、「どちらかといえば進んでいる」を+1、「確実に進んでいる」を+2として、各回答に数値を割り当て、スコアを算出。

問2-2 生物多様性が失われるのを抑えるため、愛知目標の後継となる世界目標「昆明・モントリオール生物多様性枠組」が2022年に採択されました。2022年以前と比較して、以下の3つの観点からお答えください。
あなたの住んでいる国・地域で野生生物の生息地の保全・再生は進んでいると思いますか。

問2-2について、「一般の人々の意識」、「政策・法制度」、「社会基盤」の三つの観点から問2-1と同様に分析した結果を表9に示す。

- ・世界全体で、「野生生物の生息地の保全・再生の進み具合」はどの観点でもポイントは0.5以下で、「気候変動」への対応に比べて全ての面で進んでいないと考える人が多い。
- ・三つの観点の中では、「社会基盤」が「一般の人々の意識」、「政策・法制度」よりも遅れていると考える人が多い。
- ・中国の回答者は、他の地域の回答者よりも全ての面で「野生動物の生息地の保全・再生」が進んでいると考えている。
- ・日本では、三つの観点ともマイナスのポイントとなっており、野生生物の生息地の保全・再生は進んでいないと考える回答者が多い。
- ・オセアニアではどの観点からもポイントが低く、とくに「政策・法制度」、「社会基盤」では最も低いポイントになっている。
- ・中央政府は、「一般の人々の意識」の面で、企業は「政策・法制度」、「社会基盤」の面で野生生物の生息地の保全・再生が少しずつ進みつつあると考えている。
- ・20代、30代の回答者は、他の世代よりもすべての面で野生生物の生息地の保全・再生が少しずつ進みつつあると考えている。

表9 「野生生物の生息地の保全・再生の進み具合」に関する世界平均と地域、属性別平均

脱炭素社会への転換			一般の人々の意識	政策、法制度	社会基盤
		合計	2024	2024	2024
地域	世界全体	2093	0.37	0.34	0.09
	アジア(全)	1388	0.32	0.41	0.20
	日本	459	-0.34	-0.25	-0.47
	インド	43	0.81	0.35	0.05
	中国	493	1.01	1.22	0.98
	台湾	93	0.72	0.68	0.59
	韓国	223	-0.21	-0.17	-0.24
	アジア(日、印、中、台、韓以外)	77	0.60	0.66	0.05
	オセアニア	36	0.19	-0.28	-0.75
	オーストラリア	26	0.31	-0.08	-0.54
	北米	158	0.47	0.30	0.05
	カナダ	38	0.42	0.16	-0.32
	米国	120	0.48	0.34	0.17
	メキシコ・中米・カリブ諸国	62	0.15	-0.03	-0.24
	南米	101	0.36	0.13	-0.21
	西欧	206	0.53	0.04	-0.22
	英国	42	0.55	0.02	-0.38
	西欧(英以外)	164	0.53	0.04	-0.18
	アフリカ	87	0.62	0.78	0.02
	中東	29	0.72	0.45	0.38
東欧・旧ソ連	26	0.62	0.12	-0.08	
組織	中央政府	108	0.82	0.58	0.43
	地方自治体	84	0.43	0.55	0.19
	大学・研究機関	726	0.13	0.08	-0.22
	NGO/NPO	363	0.28	0.15	-0.08
	企業	527	0.78	0.91	0.69
	ジャーナリズム	39	0.49	0.44	0.36
	その他	245	0.11	-0.02	-0.25
世代	20代・30代	761	0.64	0.67	0.49
	40代・50代	808	0.24	0.19	-0.12
	60代以上	523	0.18	0.10	-0.16

(黄色は調査した地域分類)

*1 ■: その年の最大値, ■: その年の最小値, ■: 注目値

*2 「全く進んでいない」を-2、「どちらかといえば進んでいない」を-1、「どちらともいえない」を0、「どちらかといえば進んでいる」を+1、「確実に進んでいる」を+2として、各回答に数値を割り当て、スコアを算出。

III-3. 持続可能な開発目標 (SDGs) に関する認識

問3-1 あなたがお住まいの国または地域で、17 ある目標の中で2030年に達成度が高いと思う目標を3つ選び、高いものから順に1位、2位、3位を、目標の番号でお答えください。

達成度が高いと思う目標として1位、2位、3位に選んだ回答者の割合(%)を表10に示す。

表10 2030年に達成度が高いと思う目標(複数回答)

	1. 貧困をなくそう	2. 飢餓をゼロに	3. すべての人に健康と福祉を	4. 質の高い教育をみんなに	5. ジェンダー平等を実現しよう	6. 安全な水とトイレを世界中に	7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8. 働きがいも経済成長も	9. 産業と技術革新の基盤をつくろう	10. 人や国の不平等をなくそう	11. 住み続けられるまちづくりを	12. つくる責任つかう責任	13. 気候変動に具体的な対策を	14. 海の豊かさを守ろう	15. 陸の豊かさも守ろう	16. 平和と公正	17. パートナーシップで目標を達成しよう	達成度が高いと思うものはない
世界	9	17	17	20	17	17	15	11	23	6	12	11	18	4	5	5	13	23
アジア(全)	10	19	20	22	13	19	14	11	22	5	13	13	15	4	4	5	11	21
日本	7	20	11	27	14	24	11	8	22	1	15	16	8	2	2	4	6	32
インド	12	23	28	12	14	16	28	9	26	5	12	9	30	5	16	5	9	14
中国	14	21	15	11	7	15	15	10	18	10	15	9	19	4	3	8	7	17
台湾	0	6	49	38	32	29	20	33	23	3	4	16	13	8	12	2	11	0
韓国	14	15	35	30	14	18	10	6	35	4	12	14	11	5	3	4	22	22
アジア(上記5か国以外)	8	19	16	23	18	12	13	18	12	6	13	9	42	8	14	3	27	13
オセアニア	6	8	19	17	31	19	28	0	33	11	11	0	17	6	8	11	17	19
オーストラリア	4	12	23	15	31	27	35	0	38	12	12	0	19	8	8	8	15	12
オセアニア(豪以外)	10	0	10	20	30	0	10	0	20	10	10	0	10	0	10	20	20	40
北米	4	5	10	10	29	15	24	22	33	9	14	8	24	4	4	1	23	20
カナダ	3	0	18	13	32	13	16	8	32	11	5	16	21	11	11	0	21	24
米国	5	7	8	9	28	16	27	26	33	9	17	5	25	3	3	2	24	18
メキシコ・中米・カリブ諸国	2	6	2	11	32	2	6	5	27	11	5	11	29	13	11	0	29	32
南米	5	11	4	13	20	10	20	7	18	7	9	8	21	1	8	3	15	41
西欧	8	20	15	17	24	14	19	15	25	7	9	7	17	3	5	7	17	24
英国	2	7	5	17	29	5	31	14	21	24	7	12	17	10	2	12	21	21
西欧(英以外)	10	23	18	17	23	16	16	15	26	3	9	5	18	2	5	5	15	24
アフリカ	10	15	18	18	22	14	15	5	13	11	6	5	26	2	6	6	15	31
中東	17	21	24	31	10	10	14	10	14	10	10	21	34	3	10	17	10	10
東欧・旧ソ連	8	23	12	19	19	23	23	12	19	0	8	8	23	8	4	15	19	19

※ 達成度が高いと回答のあった目標 ■:1位 ■:2位 ■:3位

- ・自分の住む国・地域で2030年に達成度が高いと思う目標として、世界平均としては、「9. 産業と技術革新の基盤をつくろう」(23%)、「4. 質の高い教育をみんなに」(20%)、「13. 気候変動に具体的な対策を」(18%)の三つが選ばれている国・地域が多い。一方、「達成度が高いと思うものはない」を選んだ回答者も多い。
- ・アジア、中東では「4. 質の高い教育をみんなに」の達成度が高いと思うと回答した人が多い中、北米、メキシコ・中米・カリブ諸国、南米では、この目標の達成度が高いと回答した人が少ない。
- ・インド、メキシコ・中米・カリブ諸国、南米、アフリカ、中東、東欧・旧ソ連では、「13. 気候変動に具体的な対策を」の達成度が高いとした回答者が多い。
- ・「5. ジェンダー平等を実現しよう」は、アジア、中東では2030年時点での達成度が高いと思われていないが、それ以外の地域では達成度が高いと考えられている。

問3-2 あなたがお住まいの国または地域で、17 ある目標の中で2030年に達成度が低いと思うものを3つ選び、低いものから順に1位、2位、3位を、目標の番号でお答えください。

達成度が低いと思う目標として1位、2位、3位に選んだ回答者の割合(%)を表11に示す。

表11 2030年に達成度が低いと思う目標(複数回答)

	1.	2.	3.	4.	5.	6.	7.	8.	9.	10.	11.	12.	13.	14.	15.	16.	17.	達成度が低いと思うものはない
	1. 貧困をなくそう	2. 飢餓をゼロに	3. すべての人に健康と福祉を	4. 質の高い教育をみんなに	5. ジェンダー平等を実現しよう	6. 安全な水とトイレを世界中に	7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8. 働きがいも経済成長も	9. 産業と技術革新の基盤をつくろう	10.人や国の不平等をなくそう	11.住み続けられるまちづくりを	12. つくる責任つかう責任	13. 気候変動に具体的な対策を	14. 海の豊かさを守ろう	15. 陸の豊かさを守ろう	16. 平和と公正をすべての人に	17. パートナーシップで目標を達成しよう	
世界	36	21	11	9	14	8	11	13	5	27	11	15	25	19	12	24	5	8
アジア(全)	32	17	11	9	18	7	12	15	6	28	10	11	26	18	10	23	6	7
日本	42	22	16	7	21	5	18	15	2	30	6	6	37	16	9	34	4	2
インド	35	35	19	5	16	12	2	12	12	37	14	19	14	16	9	23	7	5
中国	15	8	11	11	13	6	9	18	10	20	11	15	13	13	8	11	6	17
台湾	42	15	4	11	10	20	14	3	3	32	16	6	26	40	6	41	10	0
韓国	40	25	4	4	25	7	9	4	4	40	11	12	39	22	13	18	8	1
アジア(上記5か国以外)	36	21	9	13	17	13	10	12	8	16	8	19	19	22	14	35	12	5
オセアニア	44	22	8	11	6	3	6	8	6	36	8	25	31	28	31	11	8	3
オーストラリア	46	27	4	12	8	0	4	4	4	35	12	31	27	27	31	12	8	4
オセアニア(豪以外)	40	10	20	10	0	10	10	20	10	40	0	10	40	30	30	10	10	0
北米	49	37	7	8	6	4	6	5	4	25	15	29	25	18	11	31	4	6
カナダ	55	37	5	3	8	3	8	0	0	24	18	32	29	16	11	42	3	3
米国	48	37	8	9	6	4	5	7	5	26	13	28	23	19	11	28	4	7
メキシコ・中米・カリブ諸国	48	26	21	8	8	19	10	11	2	16	13	11	16	15	15	27	0	11
南米	53	31	21	15	8	10	3	13	2	25	12	16	13	7	10	21	6	12
西欧	37	16	7	4	6	9	7	5	1	27	14	23	31	34	31	27	3	6
UK	36	26	10	0	5	5	5	5	0	24	12	19	24	38	40	29	2	7
西欧(UK以外)	37	13	6	5	6	10	8	5	2	27	14	24	33	33	28	27	3	6
アフリカ	44	36	7	13	8	2	18	10	11	18	15	16	13	16	6	30	2	11
中東	34	34	3	0	21	10	14	3	7	21	7	17	17	14	17	21	7	17
東欧・旧ソ連	23	23	8	15	15	15	4	8	4	27	8	19	15	31	27	27	8	8

※達成度が低いと回答のあった目標 ■:1位 ■:2位 ■:3位

- ・自分の住む国・地域で2030年に達成度が低いと思う目標として、「1. 貧困をなくそう」(36%)、「10.人や国の不平等をなくそう」(27%)、「13.気候変動に具体的な対策を」(25%)の三つを選んだ回答者が多かった。これらに「16.平和と公正をすべての人に」(24%)が続く。
- ・「5.ジェンダー平等を実現しよう」の自国での実現が難しいと考えている回答者が、特に日本、韓国、中東に多い。
- ・「12.つくる責任つかう責任」が、自国での達成度が低いと思う目標に選んだ回答者は、オセアニア、北米、西欧に多かった。
- ・日本、台湾、カナダ、アフリカ、中東、東欧・旧ソ連では、「16.平和と公正をすべての人に」が他の地域に比べて達成度が低いと考えられている。

問4 2030年までの目標達成に向けて、17あるSDGsが、全体として2024年時点でのどの程度達成できていると思いますか。全目標達成を100%として、1～100の数字でお答えください。便宜上、数字は5%刻みの値でご記入ください。

図17に回答者2,093人の2024年時点での感覚的なSDGsの達成度(%)の分布を示す。回答者の15.1%が達成度0%、9.5%が目標達成に向かっていないと思わないと回答し、平均は31.0%であった。

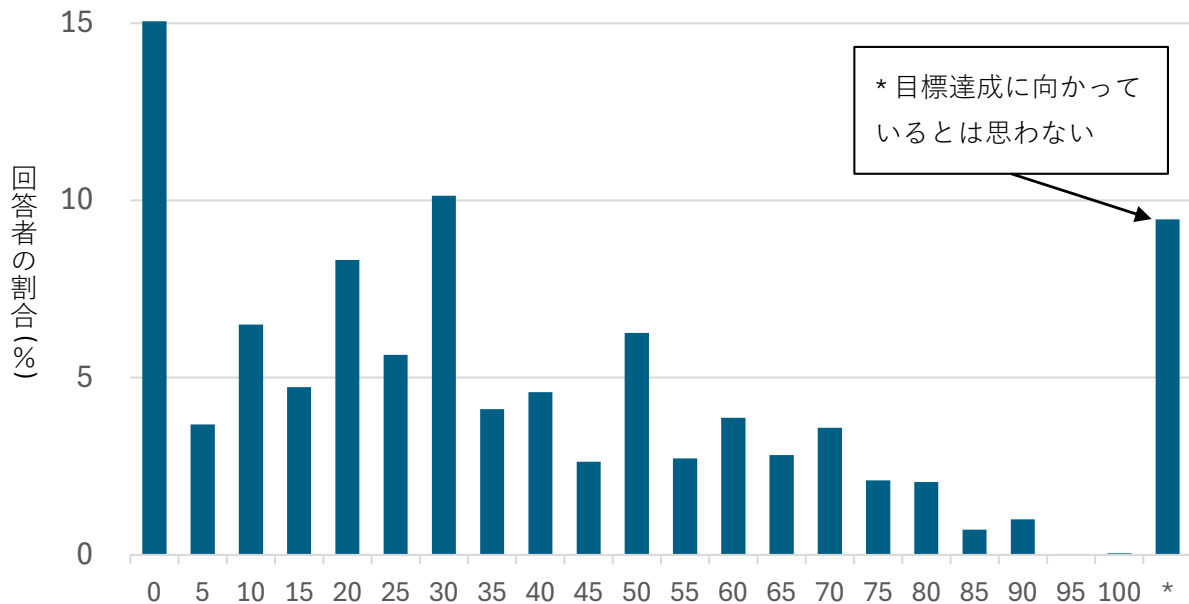


図17 2024年時点での感覚的なSDGsの達成度(%)の回答分布

図18に年代別の2024年時点での感覚的なSDGsの達成度(%)を示す。これを見ると、20代、30代の回答者は2024年時点でのSDGsの達成度が35%以上であると感じているのに対し、50代以上の回答者は30%も達成していないと感じており、年代による達成度の感じ方に大きな違いがある。

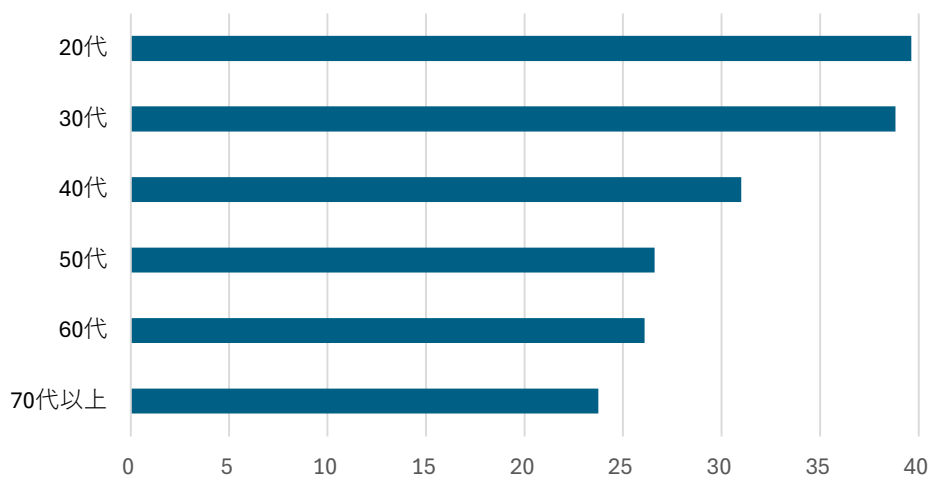


図18 年代別の感覚的なSDGsの達成度(%)

IV . おわりに

世界の環境危機時計[®]の時刻は2020年の9時47分から、2024年の9時27分まで連続して合計20分戻った。世界のほとんどの地域で環境危機時計[®]の針が戻った中で、西欧のみ19分針が進んだ。西欧では過去10年の中で最も針が進んでいる。2023年のヨーロッパはとくに猛烈な熱波に見舞われ、山火事も相次いだことが影響したのかもしれない。

また、環境危機時計の時刻を決める際に選択する「地球環境の変化を示す項目」では、調査開始後初めてすべての地域で「気候変動」が他の項目に比べ圧倒的に多い30%の人々に選ばれ、世界中で気候変動が喫緊の問題と認識されていることがわかる。

2024年は、地球環境問題の中で特に大きな関心が集まっている「気候変動」と「生物多様性の喪失」の問題について「一般の人々の意識」、「政策・法制度」、「社会基盤」の三つの観点から意識調査を行った。

パリ協定、SDGsが採択された2015年以前と比較して改善の兆しが見られるかという意識調査も行った。

問2-1の脱炭素社会への転換について、世界全体では「一般の人々の意識」は、「政策、法制度」、「社会基盤」に比べて改善の兆しが見られるとする値が大きい傾向にある。

問2-2で、自分が住んでいる国・地域で野生生物の生息地の保全・再生は進んでいるかという質問に対し、中国以外のどの地域でも「気候変動」に比べて全ての面で進んでいないと考える人が多い。地球環境の変化を示す項目の環境危機時刻について、「生物多様性」は「気候変動」よりも13分針が進んでおり、「生物多様性」問題への危機意識は高いといえる。「気候変動」については「気候変動に関する政府間パネル (IPCC)」が1988年に設立されて活動を続けており、生物多様性については、IPCC設立より24年遅れた2012年に「生物多様性及び生態系サービスに関する政府間科学政策プラットフォーム (IPBES)」が設立され活動を開始した。2024年にIPBESはブループラネット賞受賞が決まったので、今後のIPBESの活躍に期待したい。

問3では、持続可能な開発目標 (SDGs) に関する認識について調査した。今年も自国での2030年時点での達成度に関して質問した。達成度が高いと思う目標は地域によって比較的ばらつきがあるが、達成度が低いと思う目標として、多くの国で昨年に引き続き、「1. 貧困をなくそう」と「10. 人や国の不平等をなくそう」の二つが選ばれた。2030年までの目標達成に向けて、2024年時点での感覚的なSDGsの達成度についての調査では、50代、60代の平均は26%、20代、30代の平均は39%であった。この差について、若い世代ほどSDGsに関する情報量や教育の機会が多く、SDGsの達成に積極的に取り組み、世の中の変化を敏感にとらえているのかもしれないと考えた。

最後に、今年もアンケート回答期間直前の一年間の、環境に関する世界の主な出来事をまとめた表を参考資料として作成した。報告書の結果を自分なりに読み解く際に、この表を参考にしていきたい。

今後も、この調査を続けていく予定であり、来年もアンケートに協力していただけると幸いです。

参考： 環境に関する世界の主な出来事 (2023年4月～2024年3月)

年月	世界の出来事
2023年4月	(フィンランドがNATOに加盟。) ・WHOがCovid19「緊急事態宣言」終了を発表。
5月	・コンゴ民主共和国東部の大雨で400人以上の死者、数百人が行方不明。 ・ミャンマー西部のラカイン州に大型サイクロン「モカ」が上陸、400人以上の死傷者が出た。 ・5月上旬に始まったカナダでの山火事。6月上旬現在、国内416カ所で火災が継続。とりわけ西部で被害拡大、米国・NYやワシントンが大気汚染で空がオレンジに。
6月	・6/3ハイチ各地で豪雨による激しい洪水が発生、少なくとも死者は42人。 (日本) 四国～関東の所々で観測史上1位や6月1位の記録的な大雨となった。 ・7月下旬、記録的な大型台風5号「トクスリ」がフィリピンに上陸し、死者27人を含めおおよそ50人の死者。 ・「トクスリ」は、その後中国南部の福建省に上陸し、北京近郊で大規模浸水や河川氾濫の被害をもたらした。中国メディアによると、7/30までに福建省で145万人が被災。死者20名以上。 ・山火事がギリシャ全土で相次いで発生し、欧州連合(EU)域内で2000年以降最大の森林火災とされている。
7月	・国連のアントニオ・グテレス事務総長は27日、7月の世界の月間平均気温が過去最高を更新する見通しとなったことを受けて記者会見を開き、「地球温暖化の時代は終わり、地球沸騰の時代が到来した」と警告した。 ・日本の7月の平均気温25.96度は、過去125年で最も高く、45年ぶりに記録を更新した。7/3-30の4週間で熱中症で全国3万3千人が救急搬送数。 ・イタリア・シチリア島南部フロリディアで8/11に観測された48.8度が欧州大陸で史上最高の気温を更新。
8月	・8/8に米ハワイ州マウイ島で発生した山火事は、古都ラハイナの2,200の建物を全焼させ、約100人が犠牲となり、米国で、過去100年で最悪ともいわれる被害が出た。 ・サイクロン「ストーム・ダニエル」の影響で、リビアでは大洪水で2つのダムが決壊し、デルナの街全体が流された。世界保健機関(WHO)によると9月末現在、死者は4000人に迫り、9000人が依然として行方不明。
9月	・9/29 ニューヨーク州各地で洪水や停電、緊急事態宣言を発令。9月の降水量は史上2番目との多さ。 ・欧州連合(EU)気象情報機関「コペルニクス気候変動サービス」は、北半球が夏となる6～8月の今年の世界平均気温は16.77度で、1940年からの観測史上最高だったと発表。 ・柑橘グリーンング病とフロリダで多発したハリケーンによってオレンジの供給が打撃、2020年1月以降、価格が270%に高騰。
10月	・インドでエルニーニョによる記録的な干ばつが発生、粗糖は12年ぶりに高値更新し、綿花も10カ月ぶりの高値。その一方、豪雨によりヒマラヤの氷河湖で水があふれ洪水が発生、少なくとも40人が死亡、数十人が行方不明。 (パレスチナ・イスラエル戦争が始まる。) ・11/19 ブラジル南東部のアラスアイで44.8°Cの日最高気温を観測し、ブラジルの国内最高記録を更新。
11月	・11月～12月前半の数週間の大雨と洪水によりケニア、ソマリア、エチオピア、タンザニアで合わせて少なくとも350人以上が死亡、避難者は100万人以上となった。 ・パナマ運河周辺は、「エルニーニョ現象」の影響で記録的な干ばつに見舞われ、パナマ運河は通航できる船舶の数を段階的に削減する方針を発表。 ・ブラジルの北部一帯で、観測史上で最悪といわれる干ばつの被害。北西部のアマゾン州では、森林火災の件数が昨年同時期に比べ2.5倍に増え、火災の煙による大気汚染の被害も深刻化。
12月	・COP28が11/30～12/12にアラブ首長国連邦のドバイで開催。 (日本) 秋(9～11月)の平均気温が平年値(1991～2020年の平均)を1.39度上回り、1898年の統計開始から最も高温、と気象庁が発表。 ・ペルシャ湾にある島国であるバーレーンの月平均気温が1月としては1902年以降で最も高かった。
2024年1月	・トルコの月平均気温は、1月としては1971年以降で最も高かった。 ・スペインの月平均気温は、1月としては1961年以降で最も高かった。
2月	・2/1頃からチリの中・南部を中心に各地で大規模な森林火災が発生、非常事態宣言を発令し軍も投入して消火活動を行ったが火が弱まるまでに6日間程度を要し131人死亡。 ・メキシコは3月末時点で国土の7割が干ばつ状態で、トウモロコシなど農産物が値上がりしている。メキシコシティでは1-3月の3か月で1日の降水量が1ミリを超えたのは1日のみ。
3月	・2023年の世界気温は産業革命前と同程度とされる1850～1900年の平均より約1.45度高かったと世界気象機関(WMO)が発表。

V. データ集

国別回収結果

地域	国名	集計
アフリカ	ALGERIA	2
	BENIN	3
	BOTSWANA	2
	BURKINA FASO	6
	BURUNDI	1
	CAMEROON	4
	COTE D'IVOIRE	3
	DEMOCRATIC REPUBLIC OF THE CONGO	1
	EGYPT	1
	ETHIOPIA	3
	GHANA	2
	GUINEA	1
	KENYA	10
	LIBERIA	1
	LIBYA	1
	MADAGASCAR	4
	MALAWI	1
	MALI	1
	MAURITIUS	1
	MOROCCO	5
	MOZAMBIQUE	3
	NAMIBIA	2
	NIGER	1
	NIGERIA	2
	SENEGAL	3
	SOUTH AFRICA	9
	TANZANIA	3
	TOGO	1
	TUNISIA	2
	UGANDA	6
	ZAMBIA	1
	ZIMBABWE	1
アフリカ 集計		87
アジア	BANGLADESH	4
	CAMBODIA	2
	CHINA	493
	HONG KONG	4
	INDIA	43
	INDONESIA	6
	JAPAN	459
	KOREA	223
	MALAYSIA	12
	MONGOLIA	1
	MYANMAR	1
	NEPAL	5
	PAKISTAN	6
	PHILIPPINES	10
	SINGAPORE	3
	SRI LANKA	6
	TAIWAN	93
THAILAND	10	
VIETNAM	7	
アジア 集計		1388

地域	国名	集計	
メキシコ・中米・カリブ諸国	BELIZE	1	
	COSTA RICA	8	
	CUBA	1	
	DOMINICAN REPUBLIC	3	
	EL SALVADOR	3	
	GUATEMALA	7	
	HONDURAS	3	
	MEXICO	30	
	PANAMA	3	
	PUERTO RICO	1	
	SAINT LUCIA	1	
	TRINIDAD AND TOBAGO	1	
	メキシコ・中米・カリブ諸国 集計		62
	南米	ARGENTINA	7
BOLIVIA		2	
BRAZIL		31	
CHILE		6	
COLOMBIA		17	
ECUADOR		12	
GUYANA		2	
PARAGUAY		4	
PERU		12	
SURINAME		1	
URUGUAY		3	
VENEZUELA	4		
南米 集計		101	
東欧・旧ソ連	ALBANIA	2	
	CROATIA	2	
	CZECH	3	
	ESTONIA	1	
	GEORGIA	1	
	HUNGARY	4	
	KAZAKHSTAN	1	
	NORTH MACEDONIA	1	
	POLAND	2	
	ROMANIA	1	
	RUSSIA	4	
SERBIA	1		
SLOVAKIA	1		
SLOVENIA	1		
UZBEKISTAN	1		
東欧・旧ソ連 集計		26	

地域	国名	集計
西欧	AUSTRIA	7
	BELGIUM	3
	DENMARK	3
	FINLAND	1
	FRANCE	20
	GERMANY	23
	GREECE	5
	GREENLAND	1
	IRELAND	4
	ITALY	19
	MONACO	1
	NORWAY	4
	PORTUGAL	6
	SPAIN	21
	SWEDEN	5
	SWITZERLAND	29
	THE NETHERLANDS	12
UK	42	
西欧 集計		206
中東	BAHRAIN	1
	CYPRUS	1
	IRAN	3
	ISRAEL	3
	JORDAN	5
	KUWAIT	2
	LEBANON	5
	PALESTINE	2
	SAUDI ARABIA	4
	SYRIA	1
TURKEY	1	
YEMEN	1	
中東 集計		29
北米	CANADA	38
	USA	120
北米 集計		158
オセアニア	AUSTRALIA	26
	NEW CALEDONIA	1
	NEW ZEALAND	6
	PAPUA NEW GUINEA	1
	SOLOMON	1
	VANUATU	1
オセアニア 集計		36

問1 人類存続の危機に関する認識－環境危機時計[®]

別紙の表1は“地球環境の変化を示す項目”です。地球全体の問題を念頭に置きながら、あなたがお住まいの国または地域における環境問題を考える上で重要な項目を3つ選んで1位～3位の順位付けをし、それぞれ時計の針に例えて0:10～12:00の範囲で〇〇時〇〇分と教えてください。時刻は便宜上、10分単位でご記入下さい。

1位項目

	全世界	アジア(全)							オセアニア			北米		メキシコ・中米・カリブ諸国	南米	西欧		アフリカ	中東	東欧・旧ソ連		
		日本	インド	中国	台湾	韓国	アジア(日、印、中、台、韓以外)	オーストラリア	オセアニア(豪以外)	カナダ	米国	英国	西欧(英以外)									
回収数	[2093]	[1388]	[459]	[43]	[493]	[93]	[223]	[77]	[36]	[26]	[10]	[158]	[38]	[120]	[62]	[101]	[206]	[42]	[164]	[87]	[29]	[26]
有効回答者数	[2088]	[1385]	[457]	[43]	[493]	[93]	[223]	[76]	[36]	[26]	[10]	[158]	[38]	[120]	[62]	[101]	[205]	[42]	[163]	[86]	[29]	[26]
1. 気候変動	47	48	66	44	24	39	68	52	53	54	50	61	58	63	35	34	44	40	45	51	41	31
2. 生物圏保全性(生物多様性)	10	6	4	5	5	6	8	19	14	19	0	12	11	13	18	15	26	21	27	13	3	27
3. 陸域系の変化(土地利用)	5	3	2	12	4	4	1	10	6	8	0	2	5	1	15	16	3	0	4	9	7	12
4. 生物化学フロー(環境汚染)	5	6	2	9	8	18	4	4	6	0	20	2	0	3	2	5	2	2	2	0	3	4
5. 水資源	7	8	1	12	15	12	4	3	0	0	0	1	0	2	8	7	3	5	2	8	17	8
6. 人口	6	7	6	12	11	6	3	0	8	12	0	6	11	4	3	3	4	12	2	5	3	4
7. 食糧	4	5	4	0	10	2	1	3	0	0	0	1	0	1	0	0	1	2	1	6	3	0
8. ライフスタイル(消費性向)	5	5	2	0	10	4	4	3	0	0	0	8	5	8	2	4	8	5	9	2	7	0
9. 社会・経済と環境、政策、施策	11	11	12	7	14	8	8	5	14	8	30	8	11	7	18	17	8	12	7	6	14	15
無回答	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0
1位時間	9:57	9:50	10:07	9:27	9:50	9:08	9:38	9:55	10:24	10:30	10:10	10:43	10:23	10:49	9:57	9:37	10:39	10:31	10:41	9:09	9:12	9:56

2位項目

	全世界	アジア(全)							オセアニア			北米		メキシコ・中米・カリブ諸国	南米	西欧		アフリカ	中東	東欧・旧ソ連		
		日本	インド	中国	台湾	韓国	アジア(日、印、中、台、韓以外)	オーストラリア	オセアニア(豪以外)	カナダ	米国	英国	西欧(英以外)									
回収数	[2093]	[1388]	[459]	[43]	[493]	[93]	[223]	[77]	[36]	[26]	[10]	[158]	[38]	[120]	[62]	[101]	[206]	[42]	[164]	[87]	[29]	[26]
有効回答者数	[2082]	[1379]	[457]	[43]	[488]	[93]	[222]	[76]	[36]	[26]	[10]	[158]	[38]	[120]	[62]	[101]	[205]	[42]	[163]	[86]	[29]	[26]
1. 気候変動	15	14	14	9	11	23	17	13	28	31	20	16	16	16	16	19	18	24	17	13	21	23
2. 生物圏保全性(生物多様性)	20	17	23	33	7	13	22	27	44	50	30	30	32	30	21	24	24	26	24	23	17	19
3. 陸域系の変化(土地利用)	8	6	6	21	3	10	3	21	8	4	20	9	11	8	6	21	11	12	11	16	7	4
4. 生物化学フロー(環境汚染)	9	9	8	9	10	18	9	6	0	0	0	8	5	9	10	7	5	5	5	6	10	12
5. 水資源	12	12	8	12	17	11	7	13	3	0	10	10	3	13	23	10	10	5	12	17	24	12
6. 人口	8	10	7	7	13	6	14	5	3	4	0	5	8	4	3	4	5	0	6	6	3	4
7. 食糧	9	12	11	2	18	4	8	4	6	4	10	1	3	1	5	3	3	7	2	5	3	0
8. ライフスタイル(消費性向)	9	9	9	2	11	8	8	3	6	4	10	8	8	8	6	5	13	12	13	0	7	19
9. 社会・経済と環境、政策、施策	10	10	13	5	8	8	12	6	3	4	0	12	16	11	10	8	10	10	10	14	7	8
無回答	1	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0
2位時間	9:10	9:00	9:20	8:53	8:51	7:47	9:01	9:25	9:44	9:47	9:37	10:03	9:49	10:07	8:51	8:54	10:02	10:02	10:02	8:37	8:24	9:46

3位項目

	全世界	アジア(全)							オセアニア			北米		メキシコ・中米・カリブ諸国	南米	西欧		アフリカ	中東	東欧・旧ソ連		
		日本	インド	中国	台湾	韓国	アジア(日、印、中、台、韓以外)	オーストラリア	オセアニア(豪以外)	カナダ	米国	英国	西欧(英以外)									
回収数	[2093]	[1388]	[459]	[43]	[493]	[93]	[223]	[77]	[36]	[26]	[10]	[158]	[38]	[120]	[62]	[101]	[206]	[42]	[164]	[87]	[29]	[26]
有効回答者数	[2027]	[1324]	[455]	[43]	[438]	[92]	[220]	[76]	[36]	[26]	[10]	[158]	[38]	[120]	[62]	[101]	[205]	[42]	[163]	[86]	[29]	[26]
1. 気候変動	9	9	7	12	10	11	7	9	8	12	0	8	5	8	6	10	13	17	12	10	10	12
2. 生物圏保全性(生物多様性)	11	8	9	12	4	9	16	10	17	19	10	15	18	13	16	19	14	12	15	21	24	12
3. 陸域系の変化(土地利用)	8	6	6	12	5	13	5	9	22	27	10	8	13	7	10	12	12	7	13	13	17	12
4. 生物化学フロー(環境汚染)	10	11	12	5	11	15	9	8	6	8	0	11	5	13	5	8	10	14	9	6	0	15
5. 水資源	10	9	7	16	9	16	7	16	8	4	20	16	11	18	16	11	10	7	10	11	14	15
6. 人口	8	9	7	5	12	9	9	4	11	12	10	6	8	6	5	5	5	7	5	5	7	4
7. 食糧	10	13	15	2	12	5	16	4	0	0	0	6	8	5	3	4	4	2	4	10	3	0
8. ライフスタイル(消費性向)	13	12	14	9	12	9	11	13	17	12	30	15	11	16	18	8	17	12	19	7	0	8
9. 社会・経済と環境、政策、施策	18	19	22	28	13	13	20	26	11	8	20	16	21	14	21	24	15	21	13	16	24	23
無回答	3	5	1	0	11	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0
3位時間	8:38	8:25	8:47	8:54	8:14	7:15	8:15	8:49	9:36	9:50	9:02	9:33	9:14	9:39	8:43	8:35	9:34	9:49	9:30	7:59	7:14	9:14

問2 地球環境問題の中で、「気候変動」と「生物多様性の喪失」の問題には特に大きな関心が集まっており、どちらも解決を急ぐ必要があります。これらの問題についてのあなたの現状認識を伺います。

問2-1 地球温暖化への取り組みを促進するため、2015年にパリ協定、SDGsが採択されました。あなたの住んでいる国・地域で脱炭素社会への転換は進んでいると思いますか。2015年以前と比較して、以下の3つの観点からお答えください。

(以下、百分率は有効回答ベースで表示)

1. 一般の人々の意識

単位: %

	全世界	アジア(全)							オセアニア			北米			メキシコ・中米・カリブ諸国	南米	西欧		アフリカ	中東	東欧・旧ソ連	
		日本	インド	中国	台湾	韓国	アジア(日、印、中、台、韓以外)	オーストラリア	オセアニア(豪以外)	カナダ	米国	英国	西欧(英以外)									
有効回答者数	[2093]	[1388]	[459]	[43]	[493]	[93]	[223]	[77]	[36]	[26]	[10]	[158]	[38]	[120]	[62]	[101]	[206]	[42]	[164]	[87]	[29]	[26]
1. 確実に進んでいる	23	20	11	44	30	11	12	34	33	35	30	32	37	31	8	18	35	40	34	22	21	31
2. どちらかといえば進んでいる	48	47	49	35	52	52	36	32	56	58	50	53	42	56	45	38	55	55	55	45	52	46
3. どちらともいえない	13	17	19	0	12	20	28	9	3	4	0	3	3	3	10	4	3	0	4	11	7	4
4. どちらかといえば進んでいない	13	13	15	14	5	15	19	22	6	4	10	10	13	9	29	33	6	2	7	17	10	12
5. 全く進んでいない	4	3	5	7	1	2	4	3	3	0	10	2	5	1	8	8	1	2	1	5	10	8
平均	0.7	0.7	0.5	1.0	1.0	0.5	0.3	0.7	1.1	1.2	0.8	1.0	0.9	1.1	0.2	0.2	1.2	1.3	1.2	0.6	0.6	0.8
標準偏差	1.065	1.041	1.049	1.290	0.869	0.951	1.047	1.221	0.919	0.710	1.317	0.967	1.194	0.886	1.176	1.299	0.822	0.805	0.826	1.144	1.237	1.234

2. 政策、法制度

単位: %

有効回答者数	[2093]	[1388]	[459]	[43]	[493]	[93]	[223]	[77]	[36]	[26]	[10]	[158]	[38]	[120]	[62]	[101]	[206]	[42]	[164]	[87]	[29]	[26]
1. 確実に進んでいる	20	23	7	35	48	8	6	26	8	8	10	9	8	10	11	9	12	10	13	25	28	19
2. どちらかといえば進んでいる	43	40	46	30	33	68	31	44	44	46	40	55	50	57	31	41	56	62	54	40	45	42
3. どちらともいえない	15	18	21	12	13	13	26	12	8	12	0	9	8	9	13	11	8	7	9	17	3	12
4. どちらかといえば進んでいない	18	15	21	19	5	8	30	16	28	27	30	25	29	24	29	32	19	21	19	13	17	19
5. 全く進んでいない	4	4	5	5	1	4	7	3	11	8	20	1	5	0	16	8	4	0	5	5	7	8
平均	0.6	0.6	0.3	0.7	1.2	0.7	0.0	0.8	0.1	0.2	-0.1	0.5	0.3	0.5	-0.1	0.1	0.5	0.6	0.5	0.7	0.7	0.5
標準偏差	1.126	1.108	1.031	1.260	0.922	0.889	1.057	1.090	1.237	1.167	1.449	1.014	1.131	0.970	1.309	1.182	1.072	0.939	1.105	1.124	1.257	1.240

3. 社会基盤(資金、人材、技術、設備)

単位: %

有効回答者数	[2093]	[1388]	[459]	[43]	[493]	[93]	[223]	[77]	[36]	[26]	[10]	[158]	[38]	[120]	[62]	[101]	[206]	[42]	[164]	[87]	[29]	[26]
1. 確実に進んでいる	12	15	4	23	30	6	6	13	3	4	0	8	0	11	2	3	6	0	8	5	14	15
2. どちらかといえば進んでいる	43	41	41	23	49	55	23	38	47	50	40	55	50	57	32	29	52	64	49	44	59	38
3. どちらともいえない	19	22	24	16	15	25	36	16	8	12	0	14	18	13	15	16	14	12	15	16	7	15
4. どちらかといえば進んでいない	21	18	26	33	5	12	28	30	33	35	30	20	24	19	42	43	21	19	22	29	17	23
5. 全く進んでいない	5	4	5	5	1	2	8	4	8	0	30	3	8	1	10	10	6	5	7	7	3	8
平均	0.4	0.4	0.1	0.3	1.0	0.5	-0.1	0.3	0.0	0.2	-0.5	0.5	0.1	0.6	-0.3	-0.3	0.3	0.4	0.3	0.1	0.6	0.3
標準偏差	1.085	1.068	1.012	1.278	0.855	0.867	1.021	1.140	1.134	0.992	1.354	0.988	1.034	0.950	1.070	1.078	1.072	0.958	1.102	1.089	1.049	1.225

問2-2 生物多様性が失われるのを抑えるため、愛知目標の後継となる世界目標「昆明・モントリオール生物多様性枠組」が2022年に採択されました。

2022年以前と比較して、以下の3つの観点からお答えください。

あなたの住んでいる国・地域で野生生物の生息地の保全・再生は進んでいると思いますか。

(以下、百分率は有効回答ベースで表示)

1. 一般の人々の意識

単位: %

	全世界	アジア(全)							オセアニア			北米			メキシコ・中米・カリブ諸国	南米	西欧		アフリカ	中東	東欧・旧ソ連	
		日本	インド	中国	台湾	韓国	アジア(日、印、中、台、韓以外)	オーストラリア	オセアニア(豪以外)	カナダ	米国	英国	西欧(英以外)									
有効回答者数	[2093]	[1388]	[459]	[43]	[493]	[93]	[223]	[77]	[36]	[26]	[10]	[158]	[38]	[120]	[62]	[101]	[206]	[42]	[164]	[87]	[29]	[26]
1. 確実に進んでいる	17	17	2	35	32	16	6	23	22	23	20	18	13	19	10	15	18	12	20	26	24	31
2. どちらかといえば進んでいる	36	34	20	40	46	58	22	39	28	31	20	42	50	39	42	40	44	50	42	37	45	31
3. どちらともいえない	19	22	33	7	15	10	27	16	11	12	10	15	11	17	13	17	15	19	13	11	14	15
4. どちらかといえば進んでいない	21	21	32	9	6	14	36	18	25	23	30	20	18	21	24	24	21	19	22	23	14	15
5. 全く進んでいない	6	7	13	9	1	2	9	4	14	12	20	5	8	4	11	5	2	0	3	2	3	8
平均	0.4	0.3	-0.3	0.8	1.0	0.7	-0.2	0.6	0.2	0.3	-0.1	0.5	0.4	0.5	0.1	0.4	0.5	0.5	0.5	0.6	0.7	0.6
標準偏差	1.174	1.176	1.013	1.277	0.911	0.971	1.079	1.150	1.411	1.379	1.524	1.149	1.177	1.145	1.226	1.145	1.089	0.942	1.127	1.174	1.099	1.299

2. 政策、法制度

単位:%

有効回答者数	[2093]	[1388]	[459]	[43]	[493]	[93]	[223]	[77]	[36]	[26]	[10]	[158]	[38]	[120]	[62]	[101]	[206]	[42]	[164]	[87]	[29]	[26]
1. 確実に進んでいる	18	21	2	23	47	15	4	25	6	4	10	11	11	11	8	12	9	5	10	29	14	19
2. どちらかといえば進んでいる	32	30	22	30	35	55	22	42	31	38	10	41	34	43	31	36	34	38	33	40	45	31
3. どちらともいえない	21	24	35	14	12	15	35	13	8	12	0	20	24	18	19	12	17	14	18	14	21	12
4. どちらかといえば進んでいない	22	19	31	23	5	13	29	17	42	38	50	24	24	24	34	35	33	40	31	15	14	19
5. 全く進んでいない	6	6	10	9	1	2	9	4	14	8	30	4	8	3	8	6	7	2	9	2	7	19
平均	0.3	0.4	-0.3	0.3	1.2	0.7	-0.2	0.7	-0.3	-0.1	-0.8	0.3	0.2	0.3	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.8	0.4	0.1
標準偏差	1.183	1.182	0.970	1.325	0.912	0.957	1.018	1.143	1.210	1.129	1.317	1.086	1.151	1.065	1.145	1.189	1.147	1.047	1.174	1.094	1.121	1.451

3. 社会基盤（資金、人材、技術、設備）

単位:%

有効回答者数	[2092]	アジア(全)							オセアニア			北米			メキシコ・中米・カリブ諸国	南米	西欧		アフリカ	中東	東欧・旧ソ連	
		[1388]	[459]	[43]	[493]	[93]	[223]	[77]	[36]	[26]	[10]	[157]	[37]	[120]			[62]	[101]				[206]
1. 確実に進んでいる	11	13	1	14	31	5	6	6	0	0	0	8	3	10	2	8	5	2	6	11	14	8
2. どちらかといえば進んでいる	29	30	14	21	45	62	19	35	22	27	10	31	24	33	34	23	24	21	25	25	38	27
3. どちらともいえない	25	26	34	23	18	20	32	22	8	12	0	25	27	25	18	16	23	24	23	25	28	27
4. どちらかといえば進んでいない	27	23	39	40	4	10	32	30	42	42	40	29	30	29	32	48	38	40	38	30	14	27
5. 全く進んでいない	8	7	12	2	2	2	11	6	28	19	50	6	16	3	15	6	9	12	9	8	7	12
平均	0.1	0.2	-0.5	0.0	1.0	0.6	-0.2	0.1	-0.8	-0.5	-1.3	0.1	-0.3	0.2	-0.2	-0.2	-0.2	-0.4	-0.2	0.0	0.4	-0.1
標準偏差	1.147	1.145	0.921	1.133	0.909	0.824	1.067	1.087	1.105	1.104	0.949	1.091	1.107	1.064	1.126	1.107	1.080	1.035	1.091	1.161	1.115	1.164

問3 別紙の図1 SDGs(持続可能な開発目標)について、あなたがお住まいの国または地域を念頭において以下の質問にお答えください。

問3-1 17 ある目標の中で2030年に達成度が高いと思う目標を3つ選び、高いものから順に1位、2位、3位を、目標の番号でお答えください。達成度が高いと思うものが無い場合は、□にチェックをいれてください。(問3-1と問3-2で同じ目標を選んだ場合、2問とも回答は無効になります。)

【1位】

単位:%

有効回答者数	[2093]	アジア(全)							オセアニア			北米			メキシコ・中米・カリブ諸国	南米	西欧		アフリカ	中東	東欧・旧ソ連	
		[1388]	[459]	[43]	[493]	[93]	[223]	[77]	[36]	[26]	[10]	[158]	[38]	[120]			[62]	[101]				[206]
1. 貧困をなくそう	5	6	2	5	10	0	9	6	3	4	0	2	0	3	2	2	2	0	3	6	10	8
2. 飢餓をゼロに	9	11	10	9	15	5	6	12	3	4	0	3	0	4	3	8	11	2	13	2	10	12
3. すべての人に健康と福祉を	5	7	2	9	6	22	13	5	8	8	10	1	5	0	2	0	3	0	4	3	7	4
4. 質の高い教育をみんなに	7	8	8	5	3	16	14	9	6	4	10	4	8	3	3	8	5	2	5	8	3	4
5. ジェンダー平等を現実にしよう	7	5	7	2	2	17	4	8	11	15	0	8	8	8	15	11	14	14	13	7	7	8
6. 安全な水とトイレを世界中に	6	6	11	2	3	10	4	3	8	12	0	6	3	7	0	4	4	2	4	5	7	8
7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに	5	4	3	12	5	6	4	1	8	8	10	8	3	10	3	4	8	14	6	3	3	0
8. 働きがいも経済成長も	3	3	2	5	4	10	2	3	0	0	0	8	5	8	0	2	4	5	4	0	0	4
9. 産業と技術革新の基盤をつくろう	8	8	9	7	6	6	11	5	6	8	0	15	11	16	5	5	7	5	8	6	14	12
10.人や国の不平等をなくそう	2	2	0	0	5	0	1	1	3	0	10	1	5	0	5	2	3	12	1	6	0	0
11.住み続けられるまちづくりを	3	4	3	2	4	1	4	3	0	0	0	3	3	3	2	1	0	0	1	0	0	0
12.つくる責任つかう責任	3	3	4	5	2	3	4	1	0	0	0	1	5	0	3	0	1	0	2	0	10	0
13.気候変動に具体的な対策を	7	6	3	19	8	1	6	18	6	8	0	9	11	9	13	2	5	7	5	11	3	4
14.海の豊かさを守ろう	1	1	0	2	2	1	1	5	3	4	0	0	0	0	3	1	0	0	1	1	0	0
15.陸の豊かさを守ろう	1	1	0	2	1	0	0	3	3	4	0	1	0	1	0	5	2	2	2	1	3	4
16.平和と公正をすべての人に	2	1	1	0	3	0	1	0	6	4	10	0	0	0	0	1	0	2	0	2	10	12
17.パートナーシップで目標を達成しよう	4	3	2	0	2	1	6	4	8	8	10	11	11	11	10	4	5	10	4	7	0	4
18.達成度が高いと思うものはない	21	19	32	14	15	0	10	13	19	12	40	20	24	18	32	41	24	21	24	31	10	19
無回答	1	2	1	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

【2位】

単位:%

	全世界	アジア(全)							オセアニア			北米			メキシコ・中米・カリブ諸国	南米	西欧		アフリカ	中東	東欧・旧ソ連	
			日本	インド	中国	台湾	韓国	アジア(日、印、中、台、韓以外)		オーストラリア	オセアニア(豪以外)		カナダ	米国			英国	西欧(英以外)				
有効回答者数	[2093]	[1388]	[459]	[43]	[493]	[93]	[223]	[77]	[36]	[26]	[10]	[158]	[38]	[120]	[62]	[101]	[206]	[42]	[164]	[87]	[29]	[26]
1. 貧困をなくそう	2	3	2	2	3	0	4	1	3	0	10	1	0	2	0	1	4	2	5	2	3	0
2. 飢餓をゼロに	5	6	6	9	5	1	8	6	6	8	0	0	0	0	0	1	5	5	5	7	3	8
3. すべての人に健康と福祉を	6	6	5	7	4	15	12	3	3	4	0	3	3	3	0	4	6	0	8	7	17	4
4. 質の高い教育をみんなに	7	8	9	7	4	16	10	8	3	4	0	3	3	3	5	2	6	10	5	5	7	4
5. ジェンダー平等を実現しよう	5	4	4	5	2	8	5	8	8	4	20	11	13	10	8	3	5	10	4	9	0	8
6. 安全な水とトイレを世界中に	6	7	8	9	7	8	8	4	8	12	0	5	8	4	0	3	4	0	5	5	0	0
7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに	5	4	3	12	4	10	3	8	14	19	0	6	8	5	2	13	8	12	7	6	3	12
8. 働きがいも経済成長も	4	4	3	2	3	13	3	6	0	0	0	8	3	10	3	2	3	5	3	0	10	4
9. 産業と技術革新の基盤をつくろう	8	8	7	7	7	10	14	5	14	15	10	11	11	12	11	8	9	2	11	3	0	8
10. 人や国の不平等をなくそう	2	2	0	2	3	0	2	1	0	0	0	4	5	4	5	3	3	7	2	2	7	0
11. 住み続けられるまちづくりを	5	5	6	5	6	2	5	3	6	4	10	8	3	10	2	3	2	0	3	5	0	8
12. つくる責任つかう責任	4	5	6	2	4	10	2	4	0	0	0	3	5	3	3	2	3	10	1	1	3	4
13. 気候変動に具体的な対策を	6	4	3	5	6	1	2	13	3	4	0	6	0	8	11	9	6	7	6	9	24	8
14. 海の豊かさを守ろう	1	2	1	0	1	5	4	1	3	4	0	1	0	2	5	0	1	2	1	1	0	4
15. 陸の豊かさを守ろう	2	1	1	5	1	0	0	3	3	4	0	3	8	2	10	2	2	0	2	2	3	0
16. 平和と公正をすべての人に	1	2	1	2	3	0	1	1	6	4	10	0	0	0	0	0	3	7	2	0	0	0
17. パートナーシップで目標を達成しよう	4	4	2	5	3	2	6	12	3	4	0	6	8	5	3	4	4	0	5	5	7	12
18. 達成度が高いと思うものはない	21	19	32	14	15	0	11	13	19	12	40	20	24	18	32	41	24	21	24	31	10	19
無回答	4	6	1	0	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

【3位】

単位:%

	全世界	アジア(全)							オセアニア			北米			メキシコ・中米・カリブ諸国	南米	西欧		アフリカ	中東	東欧・旧ソ連	
			日本	インド	中国	台湾	韓国	アジア(日、印、中、台、韓以外)		オーストラリア	オセアニア(豪以外)		カナダ	米国			英国	西欧(英以外)				
有効回答者数	[2093]	[1388]	[459]	[43]	[493]	[93]	[223]	[77]	[36]	[26]	[10]	[158]	[38]	[120]	[62]	[101]	[206]	[42]	[164]	[87]	[29]	[26]
1. 貧困をなくそう	2	2	3	5	1	0	2	0	0	0	0	1	3	1	0	2	1	0	2	2	3	0
2. 飢餓をゼロに	2	2	3	5	2	0	1	1	0	0	0	2	0	3	3	2	4	0	5	6	7	4
3. すべての人に健康と福祉を	6	7	4	12	5	13	10	8	8	12	0	6	11	4	0	0	6	5	6	8	0	4
4. 質の高い教育をみんなに	6	6	9	0	4	5	6	6	8	8	10	4	3	4	3	3	6	5	6	6	21	12
5. ジェンダー平等を実現しよう	5	4	3	7	3	8	5	3	11	12	10	10	11	10	10	6	5	5	5	6	3	4
6. 安全な水とトイレを世界中に	5	5	5	5	5	12	6	5	3	4	0	4	3	5	2	3	6	2	7	5	3	15
7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに	5	5	5	5	6	4	4	4	6	8	0	10	5	12	2	3	4	5	4	6	7	12
8. 働きがいも経済成長も	4	4	3	2	3	11	1	9	0	0	0	6	0	8	2	3	7	5	7	5	0	4
9. 産業と技術革新の基盤をつくろう	6	6	6	12	5	6	10	1	14	15	10	7	11	6	11	5	8	14	7	3	0	0
10. 人や国の不平等をなくそう	2	2	1	2	2	3	1	4	8	12	0	4	0	5	2	2	1	5	1	3	3	0
11. 住み続けられるまちづくりを	5	5	6	5	5	1	3	8	6	8	0	3	0	4	2	5	6	7	5	1	10	0
12. つくる責任つかう責任	4	5	6	2	3	3	8	4	0	0	0	3	5	3	5	6	2	2	2	3	7	4
13. 気候変動に具体的な対策を	5	5	3	7	5	11	3	10	8	8	10	8	11	8	5	10	6	2	7	6	7	12
14. 海の豊かさを守ろう	1	1	2	2	1	1	1	1	0	0	0	3	11	1	5	0	2	7	1	0	3	4
15. 陸の豊かさを守ろう	2	3	1	9	1	12	2	9	3	0	10	1	3	0	2	1	1	0	1	2	3	0
16. 平和と公正をすべての人に	2	2	3	2	2	2	3	1	0	0	0	1	0	2	0	2	3	2	4	3	7	4
17. パートナーシップで目標を達成しよう	5	4	2	5	2	8	10	12	6	4	10	7	3	8	16	7	7	12	6	3	3	4
18. 達成度が高いと思うものはない	22	20	32	14	16	0	18	13	19	12	40	20	24	18	32	41	24	21	24	31	10	19
無回答	9	13	3	0	31	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

問3-2 17 ある目標の中で2030年に達成度が低いと思う目標を3つ選び、低いものから順に1位、2位、3位を、目標の番号でお答えください。達成度が低いと思うものが無い場合は、□にチェックをいれてください。

【1位】

	全世界	アジア(全)							オセアニア			北米		メキシコ・中米・カリブ諸国	南米	西欧		アフリカ	中東	東欧・旧ソ連		
		日本	インド	中国	台湾	韓国	アジア(日、印、中、台、韓以外)	オーストラリア	オセアニア(豪以外)	カナダ	米国	英国	西欧(英以外)									
有効回答者数	[2093]	[1388]	[459]	[43]	[493]	[93]	[223]	[77]	[36]	[26]	[10]	[158]	[38]	[120]	[62]	[101]	[206]	[42]	[164]	[87]	[29]	[26]
1. 貧困をなくそう	20	17	19	19	12	24	19	23	11	8	20	32	42	29	35	36	19	26	17	28	21	15
2. 飢餓をゼロに	5	5	5	9	3	4	7	5	6	8	0	5	0	7	6	7	5	7	4	5	10	8
3. すべての人に健康と福祉を	3	3	3	5	3	0	2	3	6	0	20	2	0	3	5	2	0	0	1	2	0	0
4. 質の高い教育をみんなに	2	2	0	0	4	3	2	5	3	4	0	1	0	2	2	3	0	0	1	5	0	0
5. ジェンダー平等を実現しよう	6	7	9	2	5	4	12	3	0	0	0	0	0	0	0	4	2	2	2	1	14	8
6. 安全な水とトイレを世界中に	2	2	1	5	2	6	3	1	0	0	0	1	3	1	3	2	1	0	2	1	3	4
7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに	3	4	5	0	3	5	3	3	0	0	0	3	5	3	2	2	1	0	2	6	7	4
8. 働きがいも経済成長も	3	4	3	7	5	1	4	0	0	0	0	1	0	1	3	4	0	0	0	0	0	4
9. 産業と技術革新の基盤をつくろう	2	2	1	7	5	1	0	3	0	0	0	1	0	2	0	1	0	0	1	5	0	4
10.人や国の不平等をなくそう	9	10	8	9	8	10	19	4	14	15	10	8	8	8	5	2	8	7	9	9	3	0
11.住み続けられるまちづくりを	2	2	0	0	4	8	0	3	3	4	0	3	0	3	0	4	2	2	2	5	0	4
12. つくる責任つかう責任	5	3	1	7	6	1	1	5	8	8	10	12	16	11	6	3	7	5	8	5	0	12
13. 気候変動に具体的な対策を	10	12	17	9	6	10	15	9	14	12	20	8	13	7	2	3	12	7	13	3	10	0
14. 海の豊かさを守ろう	6	6	5	7	6	5	4	10	6	8	0	3	3	3	3	3	11	12	11	5	3	12
15. 陸の豊かさを守ろう	3	2	0	2	3	0	0	3	19	27	0	3	0	4	5	2	11	14	10	3	0	12
16. 平和と公正をすべての人に	9	9	18	7	2	15	5	10	3	0	10	9	8	10	11	8	12	10	13	6	10	8
17. パートナーシップで目標を達成しよう	2	2	1	0	2	2	2	5	6	4	10	1	0	2	0	3	0	0	0	1	0	0
18. 達成度が高いと思うものはない	7	6	2	5	15	0	0	5	3	4	0	6	3	7	11	12	6	7	6	11	17	8
無回答	1	2	1	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

【2位】

	全世界	アジア(全)							オセアニア			北米		メキシコ・中米・カリブ諸国	南米	西欧		アフリカ	中東	東欧・旧ソ連		
		日本	インド	中国	台湾	韓国	アジア(日、印、中、台、韓以外)	オーストラリア	オセアニア(豪以外)	カナダ	米国	英国	西欧(英以外)									
有効回答者数	[2093]	[1388]	[459]	[43]	[493]	[93]	[223]	[77]	[36]	[26]	[10]	[158]	[38]	[120]	[62]	[101]	[206]	[42]	[164]	[87]	[29]	[26]
1. 貧困をなくそう	9	8	12	14	2	9	11	9	22	27	10	9	11	9	10	12	12	5	14	10	10	0
2. 飢餓をゼロに	11	9	12	19	3	6	14	13	8	8	10	22	29	20	13	19	7	12	5	21	17	4
3. すべての人に健康と福祉を	3	3	5	5	3	2	1	4	0	0	0	1	0	1	6	6	3	7	2	2	0	0
4. 質の高い教育をみんなに	3	3	2	2	4	3	1	5	6	4	10	2	0	3	3	7	0	0	1	6	0	4
5. ジェンダー平等を実現しよう	5	6	7	7	5	5	7	3	0	0	0	2	0	3	5	2	1	2	1	3	3	8
6. 安全な水とトイレを世界中に	3	3	2	2	3	6	0	4	0	0	0	2	0	3	6	4	4	0	5	1	3	12
7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに	4	5	6	2	4	3	4	5	3	0	10	1	0	1	3	0	2	0	3	6	3	0
8. 働きがいも経済成長も	5	6	7	2	8	0	4	5	3	4	0	2	0	3	5	6	1	2	1	2	0	4
9. 産業と技術革新の基盤をつくろう	2	2	1	0	3	2	1	4	6	4	10	1	0	1	2	1	0	0	1	2	3	0
10.人や国の不平等をなくそう	9	9	11	14	7	10	10	4	14	12	20	7	0	9	6	12	9	10	9	5	10	19
11.住み続けられるまちづくりを	4	3	2	9	5	0	3	1	0	0	0	7	13	5	5	3	5	2	5	6	3	4
12. つくる責任つかう責任	5	4	2	5	5	2	5	6	6	8	0	11	11	12	2	4	9	7	10	5	7	0
13. 気候変動に具体的な対策を	6	8	11	0	3	5	15	1	0	0	0	3	0	4	3	4	6	7	6	6	0	4
14. 海の豊かさを守ろう	8	7	7	2	4	29	9	5	17	19	10	10	11	10	5	2	12	14	12	6	3	15
15. 陸の豊かさを守ろう	5	4	4	5	3	0	4	9	8	4	20	3	3	3	5	4	14	19	12	1	10	12
16. 平和と公正をすべての人に	6	5	7	2	2	15	4	12	6	8	0	11	21	8	10	3	5	5	5	7	3	4
17. パートナーシップで目標を達成しよう	2	2	1	5	2	1	3	4	0	0	0	1	0	2	0	0	1	0	2	0	3	4
18. 達成度が高いと思うものはない	7	6	2	5	15	0	0	5	3	4	0	6	3	7	11	12	6	7	6	11	17	8
無回答	4	7	1	0	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

[3位]

単位:%
東欧・旧ソ連

	全世界	アジア(全)							オセアニア			北米			メキシコ・中央・カリブ諸国	南米	西欧		アフリカ	中東	東欧・旧ソ連	
		日本	インド	中国	台湾	韓国	アジア(日、印、中、台、韓以外)	オーストラリア	オセアニア(豪以外)	カナダ	米国	英国	西欧(英以外)									
有効回答者数	[2093]	[1388]	[459]	[43]	[493]	[93]	[223]	[77]	[36]	[26]	[10]	[158]	[38]	[120]	[62]	[101]	[206]	[42]	[164]	[87]	[29]	[26]
1. 貧困をなくそう	6	7	10	2	2	10	10	4	11	12	10	8	3	9	3	6	6	5	6	6	3	8
2. 飢餓をゼロに	5	4	6	7	1	4	4	3	8	12	0	9	8	10	6	5	4	7	4	10	7	12
3. すべての人に健康と福祉を	5	5	8	9	4	2	0	3	3	4	0	4	5	4	10	13	3	2	4	2	3	8
4. 質の高い教育をみんなに	3	3	5	2	3	4	1	3	3	4	0	4	3	5	3	5	3	0	4	2	0	12
5. ジェンダー平等を実現しよう	4	5	5	7	3	0	6	12	6	8	0	4	8	3	3	2	2	0	3	3	3	0
6. 安全な水とトイレを世界中に	3	3	2	5	1	8	4	8	3	0	10	1	0	1	10	4	3	5	3	0	3	0
7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに	3	3	7	0	2	5	1	3	3	4	0	2	3	2	5	1	3	5	3	7	3	0
8. 働きがいも経済成長も	5	5	6	2	5	2	6	6	6	0	20	3	0	3	3	3	3	2	4	8	3	0
9. 産業と技術革新の基盤をつくろう	2	2	0	5	3	0	2	1	0	0	0	2	0	3	0	0	0	0	1	5	3	0
10. 人や国の不平等をなくそう	9	9	10	14	5	13	11	8	8	8	10	11	16	9	5	11	9	7	10	5	7	8
11. 住み続けられるまちづくりを	5	4	4	5	2	9	8	4	6	8	0	5	5	5	8	5	6	7	6	5	3	0
12. つくる責任つかう責任	5	4	3	7	4	3	5	8	11	15	0	6	5	6	3	9	7	7	7	7	10	8
13. 気候変動に具体的な対策を	8	7	9	5	3	11	9	9	17	15	20	13	16	13	11	6	13	10	14	3	7	12
14. 海の豊かさを守ろう	5	4	4	7	2	5	9	6	6	0	20	5	3	6	6	2	11	12	10	6	7	4
15. 陸の豊かさを守ろう	4	4	5	2	2	6	8	3	3	0	10	5	8	4	5	4	6	7	6	1	7	4
16. 平和と公正をすべての人に	9	9	10	14	6	11	9	13	3	4	0	11	13	10	6	10	10	14	9	17	7	15
17. パートナーシップで目標を達成しよう	2	2	1	2	2	6	2	3	3	4	0	1	3	1	0	3	1	2	1	1	3	4
18. 達成度が高いと思うものはない	7	7	2	5	16	0	1	5	3	4	0	6	3	7	11	12	6	7	6	11	17	8
無回答	9	13	3	0	33	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

問4 2030年までの目標達成に向けて、17あるSDGsが、全体として2024年時点でどの程度達成できていると思いますか。全目標達成を100%として、1～100の数字でお答えください。

便宜上、数字は5%刻みの値でご記入ください。目標達成に向かっていると思わない場合は、にチェックを入れてください。

2024年時点での感覚的なSDGsの達成度(%)

単位:%
東欧・旧ソ連

	全世界	アジア(全)							オセアニア			北米			メキシコ・中央・カリブ諸国	南米	西欧		アフリカ	中東	東欧・旧ソ連	
		日本	インド	中国	台湾	韓国	アジア(日、印、中、台、韓以外)	オーストラリア	オセアニア(豪以外)	カナダ	米国	英国	西欧(英以外)									
有効回答者数	[2093]	[1388]	[459]	[43]	[493]	[93]	[223]	[77]	[36]	[26]	[10]	[158]	[38]	[120]	[62]	[101]	[206]	[42]	[164]	[87]	[29]	[26]
0%	15	16	13	12	16	0	29	13	8	4	20	12	16	11	19	18	11	17	10	10	14	31
~5%	4	2	3	7	0	1	4	4	8	8	10	6	3	7	10	8	6	5	6	7	3	0
~10%	6	5	9	5	0	0	8	13	14	12	20	14	11	15	5	10	8	2	9	6	0	15
~15%	5	3	5	2	0	0	3	9	8	8	10	8	8	8	8	9	9	17	7	10	3	4
~20%	8	6	10	9	0	3	9	8	11	15	0	13	11	13	16	15	14	7	15	11	14	15
~25%	6	4	7	12	0	0	4	5	8	4	20	13	21	11	3	6	10	14	9	9	21	8
~30%	10	10	20	9	0	3	11	12	11	12	10	11	13	11	13	5	13	14	12	9	21	8
~35%	4	3	5	5	0	4	1	6	8	12	0	5	8	4	8	10	7	5	7	5	7	4
~40%	5	4	7	12	0	5	0	10	0	0	0	4	3	5	8	6	8	2	10	8	0	4
~45%	3	2	3	12	0	5	4	3	0	0	0	3	5	2	3	2	2	7	1	9	0	4
~50%	6	6	8	5	1	15	11	1	11	15	0	5	0	7	3	6	7	7	7	7	7	4
~55%	3	3	1	0	1	17	7	3	6	8	0	3	3	3	2	3	1	0	1	1	3	0
~60%	4	5	5	5	4	16	4	5	0	0	0	1	0	1	0	2	2	0	2	1	3	4
~65%	3	4	1	2	6	12	0	4	3	0	10	1	0	2	0	0	2	2	2	2	0	0
~70%	4	5	1	2	10	14	2	0	3	4	0	0	0	0	2	0	0	0	1	1	0	0
~75%	2	3	1	0	5	3	1	3	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	1	1	3	0
~80%	2	3	0	2	8	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
~85%	1	1	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
~90%	1	1	0	0	4	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0
~95%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
~100%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
無回答	9	14	0	0	40	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
平均	31	35	27	30	52	54	25	28	26	29	19	23	21	24	21	22	25	23	26	28	27	18
標準偏差	24.188	26.441	18.269	20.424	32.791	13.665	23.365	21.022	19.191	18.671	19.444	17.078	14.031	17.954	16.809	18.307	17.348	16.595	17.543	19.362	18.106	17.375

【対象者属性】

組織

単位：%

	全世界	アジア(全)							オセアニア			北米			メキシコ・中米・カリブ諸国	南米	西欧		英国	西欧(英以外)	アフリカ	中東	東欧・旧ソ連
		日本	インド	中国	台湾	韓国	アジア(日、中、台、韓以外)	オーストラリア	オセアニア(豪以外)	カナダ	米国	英国	西欧(英以外)										
有効回答者数	[2093]	[1388]	[459]	[43]	[493]	[93]	[223]	[77]	[36]	[26]	[10]	[158]	[38]	[120]	[62]	[101]	[206]	[42]	[164]	[87]	[29]	[26]	
1.中央政府	5	3	1	7	1	20	2	6	3	0	10	8	13	6	10	10	8	10	7	10	14	19	
2.地方自治体	4	4	5	0	3	17	3	4	0	0	0	3	3	3	10	2	3	0	4	5	0	0	
3.大学・研究機関	35	32	63	47	10	26	18	27	44	42	50	46	37	48	35	44	41	36	42	28	41	42	
4.NGO/NPO	17	13	6	26	4	18	28	48	17	19	10	20	18	21	32	32	28	33	26	32	31	19	
5.企業	25	35	7	5	79	18	22	4	14	19	0	6	11	4	5	4	4	5	4	7	3	0	
6.ジャーナリズム	2	2	2	2	2	0	3	1	0	0	0	6	5	7	0	1	0	0	1	1	0	0	
7.その他	12	11	16	14	2	0	24	9	22	19	30	11	13	11	8	8	17	17	16	17	10	19	
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

年代

単位：%

	[2093]	[1388]	[459]	[43]	[493]	[93]	[223]	[77]	[36]	[26]	[10]	[158]	[38]	[120]	[62]	[101]	[206]	[42]	[164]	[87]	[29]	[26]
20代	13	17	2	12	30	14	29	4	3	4	0	3	3	3	0	7	4	10	3	8	0	4
30代	23	29	1	23	54	31	32	23	11	12	10	6	3	7	26	13	10	7	11	22	21	4
40代	19	18	16	33	11	34	25	31	14	8	30	13	18	11	29	33	18	14	20	32	21	27
50代	19	16	29	19	4	15	12	21	31	31	30	20	8	24	19	26	32	31	32	17	38	31
60代	15	12	30	9	1	4	1	16	28	27	30	31	34	30	24	16	21	21	21	14	14	23
70代以上	10	8	22	5	0	1	0	5	14	19	0	28	34	26	2	6	14	17	13	7	7	12
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

有効回答／無回答 の定義

有効回答＝シングルアンサー、個数指定のリミテッドアンサーなどにおいて、制限内の回答数のものを有効とし、制限数オーバーの回答数のものを無効とした。
無回答＝その設問に関して回答条件者にもかかわらず回答がなかった場合を無回答とした。

VI. 調査票

問1 人類存続の危機に対する認識 - 環境危機時計®

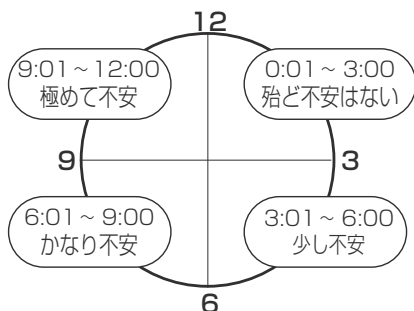
別紙の表1は「地球環境の変化を示す項目」です。地球全体の問題を念頭に置きながら、あなたがお住まいの国または地域における環境問題を考える上で重要な項目を3つ選んで1位～3位の順位付けをし、それぞれ時計の針に例えて0:10～12:00の範囲で〇〇時〇〇分と教えてください。時刻は便宜上、10分単位でご記入下さい。

危機時刻の決定法について

1位から3位の時刻の加重平均(1位:50%、2位:30%、3位:20%)として環境危機時計®の時刻を決定します。回答例の場合、8時43分となります。

----- 回答例 -----

項目番号	時刻
1位 (1)	9 時 30 分
2位 (5)	7 時 40 分
3位 (3)	8 時 20 分



----- 回答欄 -----

項目番号	時刻
1位 ()	時 分
2位 ()	時 分
3位 ()	時 分

問2 地球環境問題の中で、「気候変動」と「生物多様性の喪失」の問題には特に大きな関心が集まっており、どちらも解決を急ぐ必要があります。これらの問題についてのあなたの現状認識を伺います。

問2-1 地球温暖化への取り組みを促進するため、2015年にパリ協定、SDGsが採択されました。2015年以前と比較して、以下の3つの観点からお答えください。

あなたの住んでいる国・地域で脱炭素社会への転換は進んでいると思いますか。

	確実に 進んでいる	どちらかといえば 進んでいる	どちらとも いえない	どちらかといえば 進んでいない	全く 進んでいない
1. 一般の人々の意識	A	B	C	D	E
2. 政策、法制度	A	B	C	D	E
3. 社会基盤 (資金・人材・技術・設備)	A	B	C	D	E

問2-2 生物多様性が失われるのを抑えるため、愛知目標の後継となる世界目標「昆明・モンテリオール生物多様性枠組」が2022年に採択されました。2022年以前と比較して、以下の3つの観点からお答えください。

あなたの住んでいる国・地域で野生生物の生息地の保全・再生は進んでいると思いますか。

	確実に 進んでいる	どちらかといえば 進んでいる	どちらとも いえない	どちらかといえば 進んでいない	全く 進んでいない
1. 一般の人々の意識	A	B	C	D	E
2. 政策、法制度	A	B	C	D	E
3. 社会基盤 (資金・人材・技術・設備)	A	B	C	D	E

問3 別紙の図1 SDGs (持続可能な開発目標) について、あなたがお住まいの国または地域を念頭において以下の質問にお答えください。

問3-1 17ある目標の中で2030年に達成度が高いと思う目標を3つ選び、高いものから順に1位、2位、3位を、目標の番号でお答えください。達成度が高いと思うものが無い場合は、□にチェックをいれてください。(問3-1と問3-2で同じ目標を選んだ場合、2問とも回答は無効になります。)

1位 () 2位 () 3位 () 達成度が高いと思うものはない

問3-2 17ある目標の中で2030年に達成度が低いと思う目標を3つ選び、低いものから順に1位、2位、3位を、目標の番号でお答えください。達成度が低いと思うものが無い場合は、□にチェックをいれてください。

1位 () 2位 () 3位 () 達成度が低いと思うものはない

問3-3 問3-1、問3-2の回答についてご意見があればお書きください。(文字はできるだけはっきり書いてください。)

問4 2030年までの目標達成に向けて、17あるSDGsが、全体として2024年時点でどの程度達成できていると思いますか。全目標達成を100%として、1～100の数字でお答えください。便宜上、数字は5%刻みの値でご記入ください。目標達成に向かっていると思わない場合は、□にチェックを入れてください。

2024年時点での感覚的な達成度： _____ % 目標達成に向かっていると思わない

問5 環境問題の解決には一人ひとりの意識や行動を変えていくことが必要であると言われていています。普段の生活の中であなたが環境問題の解決に向けて意識していることや取り組んでいることがあればお書きください。(文字はできるだけはっきり書いてください。)

第 33 回 地球環境問題と人類の存続に関するアンケート

調査報告書

発行日 2024 年 9 月
制作・発行 公益財団法人 旭硝子財団
〒102-0081 東京都千代田区四番町 5-3
サイエンスプラザ 2F

*本報告書に関するお問い合わせは
post@af-info.or.jp までご連絡下さい。



公益財団法人 旭硝子財団

〒102-0081 東京都千代田区四番町5-3 サイエンスプラザ2F

Phone 03-5275-0620 Fax 03-5275-0871

E-Mail post@af-info.or.jp

URL <https://www.af-info.or.jp>